

国際観光都市機能整備調査事業

報告書 (資料編)

2019年3月

国際観光都市機能整備調査事業共同企業体

代表企業：EY 新日本有限責任監査法人

構成員：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

【 目 次 】

「MICEを核とした国際観光都市」の実現に向けたアイデア募集 説明会配付資料

(日本語版 : 1~78)

- ・ 次第.....1
- ・ 本県の基本的な考え方.....3
- ・ Information Package.....13
- ・ 実施要領65

(英語版 : 79~156)

- ・ 次第.....79
- ・ 本県の基本的な考え方81
- ・ Information Package.....91
- ・ 実施要領143

「MICEを核とした国際観光都市」の実現に向けたアイデア募集

説明会 次第

日時： 2018年8月21日（火）15:00～16:15

場所： TKP 新橋カンファレンスセンター ホール2A

1. 開会

2. 挨拶 愛知県振興部 次長 金田 学

3. 説明

(1) 国際観光都市の実現に向けた愛知県の基本的な考え方について
(愛知県振興部地域政策課)

(2) Information Package ～国際観光都市の実現に向けた愛知のポ
テンシャル～のご説明
(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)

(3) 「MICEを核とした国際観光都市」の実現に向けたアイデア募
集 実施要領のご説明
(EY新日本有限責任監査法人)

4. 質疑応答

5. 閉会

【資料】

①本県の基本的な考え方

(別紙) 国際観光都市としての機能整備に関する研究会取りまとめ

②Information Package～国際観光都市の実現に向けた愛知のポテンシャル～

③「MICEを核とした国際観光都市」の実現に向けたアイデア募集 実施要領

(別紙1) 質問書

(別紙2) 提出書類確認書

(別紙3) アンケート票

「MICEを核とした国際観光都市」の実現に向けたアイデア募集

説明会 次第

日時： 2018年8月23日（木）14:00～15:15

場所： オフィスパーク名駅 4階 プレミアホール 403

1. 開会

2. 挨拶 愛知県振興部 次長 金田 学

3. 説明

- (1) 国際観光都市の実現に向けた愛知県の基本的な考え方について
(愛知県振興部地域政策課)
- (2) Information Package ～国際観光都市の実現に向けた愛知のポテンシャル～のご説明
(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)
- (3) 「MICEを核とした国際観光都市」の実現に向けたアイデア募集 実施要領のご説明
(EY新日本有限責任監査法人)

4. 質疑応答

5. 閉会

【資料】

- ①本県の基本的な考え方
(別紙) 国際観光都市としての機能整備に関する研究会取りまとめ
- ②Information Package～国際観光都市の実現に向けた愛知のポテンシャル～
- ③「MICEを核とした国際観光都市」の実現に向けたアイデア募集 実施要領
 - (別紙1) 質問書
 - (別紙2) 提出書類確認書
 - (別紙3) アンケート票

本県の基本的な考え方

本県では、中部国際空港及びその周辺地域（以下、「中部国際空港エリア」という。）において国際競争力の高い「MICEを核とした国際観光都市」の実現を目指している。

平成29年8月に、国際観光都市としての相応しい機能整備について検討するため、地元学識者6名で構成する「国際観光都市としての機能整備に関する研究会」を設置して調査研究を行い、平成30年3月26日に意見の取りまとめが行われた。

こうした状況を踏まえ、国際観光都市の実現に向けた、現時点においての県としての考え方を整理すると次のようになる。

1 MICEを核とした国際観光都市を目指す必要性

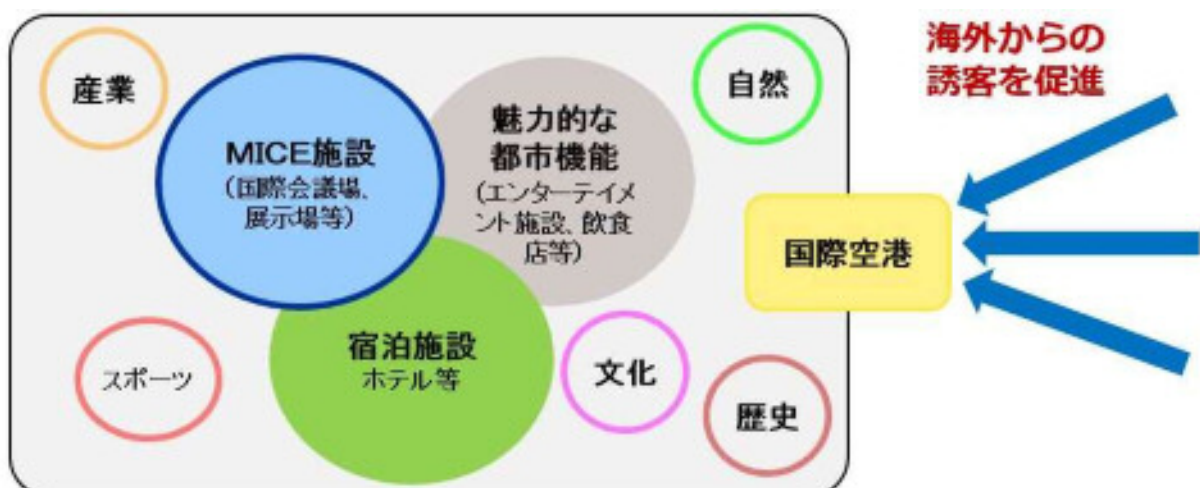
世界経済の中で観光産業はウエイトが高く、今後も伸びていく成長産業である。

中でも、MICEは、多くの集客効果、高い経済効果が見込まれることに加え、新たなビジネス・イノベーションの機会の創出にもつながるなど、地域の発展に大きく寄与するものである。

そのため、海外では、MICEを数多く誘致・開催し、世界中から多くの人を集める「MICEを核とした国際観光都市」が台頭しており、国際競争力を高めている。

そうした地域では、国際会議場や巨大な展示施設、ホテルといった施設整備、都市整備が進められており、整備手法には、こうした多様な施設機能が一体となって整備された統合型リゾートを有効に活用しているところもある。

<MICEを核とした国際観光都市のイメージ>

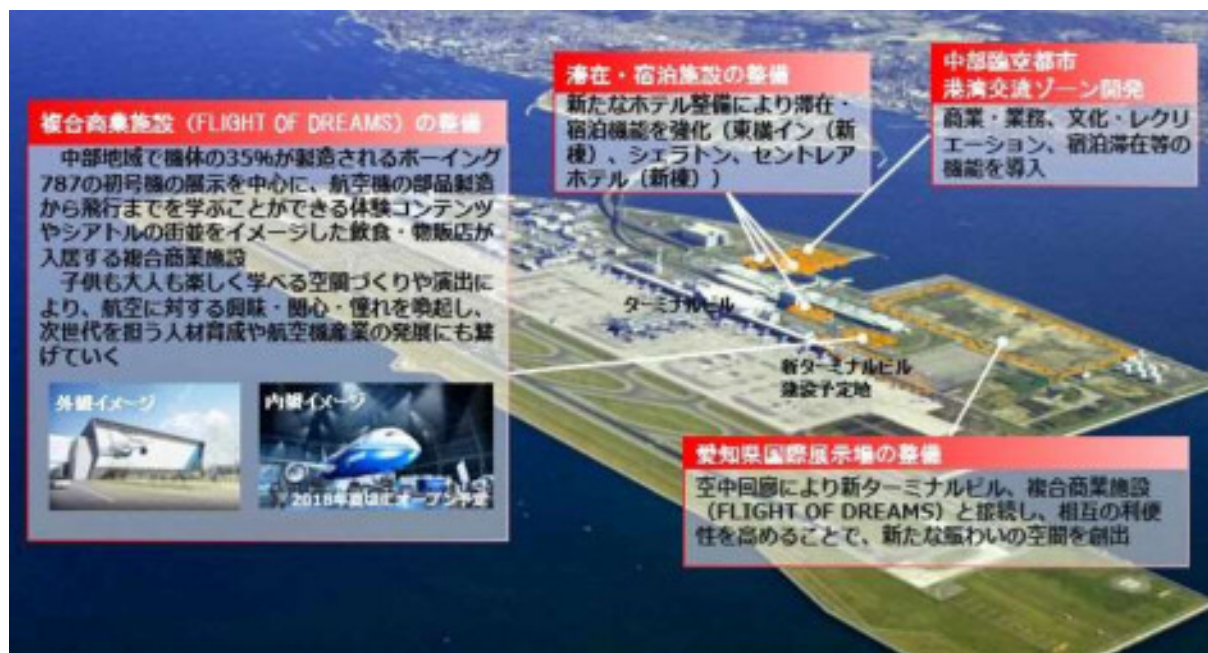


こうした中、本県としても国内外から更なるMICEを呼び込み、交流人口の拡大を図っていくためには、その産業力と日本の中心に位置する地理的特性、豊かな観光資源、優れた交通インフラ等の強みを活かして、国際競争力の高いMICEを核とした国際観光都市の実現を目指す必要がある。

本県が新たな展示会需要の受け皿として国際展示場を整備している空港島は、複合商業施設や新たな宿泊施設などの整備が着々と進められ、国内外からのアクセスも優れていることから、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光ゾーンを実現できる可能性が高い。

このため、中部国際空港エリアにおいて、魅力的な機能整備を図ることにより、MICEを核とした国際観光都市の実現を目指していくことが望ましい。

(空港島の状況)



- ✓ アジアを中心に海外、国内主要都市からのアクセスは抜群
- ✓ 名古屋市内から車で約30分(有料道路利用)
- ✓ 名古屋駅から乗換なしのダイレクトアクセスで28分
- ✓ 市街地からは物理的に隔離(島内は居住者なし)
- ✓ 連絡橋(道路・鉄道)と船による限定的なアクセス

2 集客を目指す主要なターゲット

MICEを核とした国際観光都市として必要かつ効果的な機能整備を図る上で、初めに集客を目指す対象者を明確にする。本県が集客を目指す主要なターゲットは、一般観光客よりも高い経済効果（消費支出額）があり、新しいビジネス・イノベーションの創出につながるMICE参加者と、今後も大幅な増加が見込まれ、我が国の観光産業を底上げする訪日外国人旅行者とする。

【MICE参加者】

- ・幅広いMICEを誘致することで、MICEに参加する多様な参加者を国内外から集客していく。
- ・とりわけ、本県においては、自動車、航空宇宙、ロボットなどモノづくり産業に関連する国内外のビジネス客や技術開発に関わる研究者等が主要なターゲットになる。

【訪日外国人旅行者】

- ・目覚ましい増加を続けている訪日外国人旅行者を幅広く取り込んでいく。
- ・訪日客数が多く、地理的にも近いアジアからの旅行者や、1人当たりの消費額が多く、滞在日数も長い欧米からの旅行者が主要なターゲットになる。

3 機能整備の方向性

ターゲットを念頭に置いて、中部国際空港エリアに国内外から人を呼び込んでいくためには、MICE機能の更なる強化とその周辺の魅力向上が求められる。

（1）愛知県国際展示場を核としたMICE機能の強化

展示会、見本市に加え、国際会議、学会、インセンティブツアーなど、国内外から数多くのMICEを誘致するため、更なる機能強化を図る必要がある。

国際展示場との相乗効果を生み出していくため、その近隣に国際会議場等の新たなMICE施設を整備することが考えられる。

（想定される施設）

- ・国際会議場
- ・レセプションホール など

（2）多様なニーズに対応した宿泊施設の整備

国内外の多様なニーズに対応し、長期滞在型のビジネス客や高所得者層などの来訪を促進するため、魅力的な宿泊施設の整備を図る必要がある。

宿泊施設は、高いデザイン性を備えるとともに、日本の文化を感じさせるなどの趣向やサービスを凝らした施設とすることが考えられる。

（想定される施設）

- ・長期滞在向けのゆとりあるビジネスホテル、ハイクラスホテルなど
- ・個性的なデスティネーション型ホテル、高級コンドミニアムなど

(3) 魅力増進施設の充実

MICE開催地としての魅力を向上し、世界から人を惹きつけるため、24時間楽しめ、アフターコンベンションにも資する魅力増進施設の充実を図る必要がある。

エンターテイメント施設、レストラン、ショッピング、ナイトライフアミューズメントなどの施設が想定され、愛知の魅力あるコンテンツ（食、歴史・文化、ポップカルチャー、スポーツ、ホスピタリティ等）を導入することが考えられる。

（想定される施設）

- ・劇場、美術館、産業博物館、小売店、飲食店 など
- ・最先端技術を活用した体験型アミューズメント施設、高級料亭、スポーツ観戦施設 など

(4) 最先端技術を活用したモデル未来都市の創造

この地域ならではの特色として、自動車、ロボット、次世代通信、環境・エネルギーなどの分野における最先端技術を随所に導入するとともに、民間企業や研究機関とも連携して、空港エリアを実証実験の場としても活用し、世界へ日本の最先端技術を発信する必要がある。

来訪者が未来の技術や、将来可能となるライフスタイルを実感できるようなモデル未来都市の構築を図り、世界中の人々を魅了することが考えられる。

（現時点において想定される導入機能の例）

- ・無人タクシーなどの自動運転サービス
- ・最先端のサービスロボットの活用
- ・ヴァーチャル展示会や臨場感溢れるパブリックビューイングの開催
- ・次世代移動通信システム等の活用による施設間連携

(5) 国内外からのアクセス機能の強化

中部国際空港においては、航空需要拡大や航空ネットワークの充実に向けた取組を進めており、平成31年度上期にはLCC向け新ターミナルビルも供用開始予定である。今後も更なる航空需要の拡大を見据え、成田国際空港、関西国際空港に並ぶ国際拠点空港に必要な二本目滑走路（完全24時間化）を始めとする機能強化の早期実現に向けて、関係者が一丸となって取り組んでいる。

また、新たな魅力あるアクセス機能として、国際展示場の東側（常滑港空港地区）において、フライ&クルーズを見据えたクルーズ船寄港の可能性について検討する。

中部国際空港エリアにおいて、国際観光都市のゲートウェイとして相応しい国内外からのアクセス機能の強化充実を図っていく。

4 周辺地域との連携

中部国際空港直結の地の利を活かし、周辺地域と一体となって地域の魅力を発信するとともに、中部国際空港エリアを起点とした周遊観光を促進していく。

(1) 地域一体となった魅力の発信

知多半島はもとより、県内の産業観光、武将観光、ポップカルチャー等の観光資源を始め、昇龍道など、空港からアクセスできる様々な地域の観光資源と広く連携し、地域全体として魅力を発信する。

さらには、様々な地域資源の発掘・磨き上げを行い、新たに観光資源として育て上げていくことも重要である。

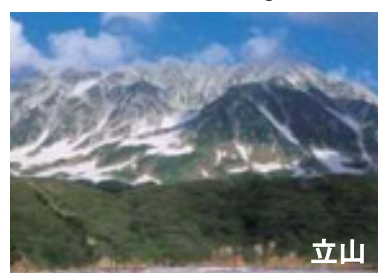
【観光地の例】



©Aichi Now



提供 名古屋城総合事務所

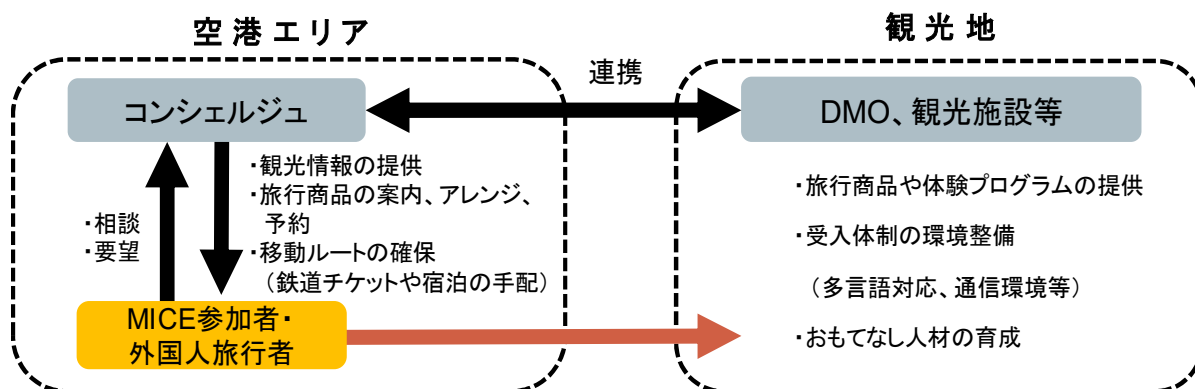


(2) 中部国際空港を中心とした周遊観光の促進

中部国際空港エリアが旅の一つの目的地となるとともに、周辺地域との連携を進めることで、空港エリアを起点とした周遊観光を促進していく。

さらには、空港エリアのコンシェルジュ機能の充実と観光地との連携を広域的に進め、空港でのワンストップ窓口により、スムーズな旅行を実現し、この地域、ひいては日本のゲートウェイとしての国際観光都市を目指す。

(ワンストップ窓口のイメージ)



(3) 名古屋の都市機能との連携

中部国際空港エリアを中心に国際観光都市の実現を目指す上で、中部地方の中核都市である名古屋の宿泊機能や商業・文化・娯楽など様々な機能面での連携を強化していくことが重要である。

また、2027年度のリニア中央新幹線開業後には、東京ー名古屋間の移動時間が40分に短縮され、中部国際空港を起点とする交流圏域も大きく広がることから、そのメリットを最大限に活かし、国内外からの誘客を図っていく。

(参考) 統合型リゾートを巡るこれまでの経過

【本県における動き】

- ・平成28年12月8日

常滑商工会議所は本県に対し、「大規模展示場利用促進及び統合型リゾート研究の推進に関する要望書」を提出。同会議所は「大規模展示場利用促進及び統合型リゾート研究特別委員会」（現MICE研究特別委員会）を設置し、研究を継続中。

- ・平成29年6月26日

常滑市議会において、「統合型リゾート（IR）の誘致に向けた調査研究を進めるよう愛知県及び常滑市に働きかけを求める請願」（請願者：常滑商工会議所会頭）を採択。

- ・平成29年7月7日

常滑市議会は本県及び常滑市に対し、「統合型リゾート（IR）の誘致に向けた調査研究を進めることについて」の要望書を提出。

- ・平成29年8月1日

本県及び常滑市は、中部国際空港エリアにおいて、MICEを核とした国際観光都市の実現を目指し、地元学識者6名に常滑商工会議所をオブザーバーとして加えた「国際観光都市としての機能整備に関する研究会」を設置。

- ・平成30年3月26日

研究会が「日本型IRの活用について、愛知県としても検討を進めていくべき」との意見を取りまとめ、県に報告。（別添）

【国の動き】

- ・平成28年12月15日

特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律が成立。

- ・平成30年4月27日

特定複合観光施設区域整備法案を閣議決定し、国会へ提出。

- ・平成30年7月20日

特定複合観光施設区域整備法が成立。

国際観光都市としての機能整備に関する研究会
取りまとめ

～M I C Eを核とした国際観光都市の実現に向けて～

平成30年3月26日

国際観光都市としての機能整備に関する研究会

1 基本的な考え方

～MICEを核とした国際観光都市の必要性～

我が国においては、訪日外国人旅行者数が5年連続で過去最高を記録するなど、観光産業は目覚ましい成長を続けており、その重要性が高まっている。

とりわけ、世界各国・都市で誘致合戦が繰り広げられているMICEは、高い経済効果が見込まれることに加え、新たなビジネス・イノベーションの機会の創出にもつながるなど、地域の発展に大きく寄与するものである。

こうした中、これまで日本のモノづくり産業の集積地として栄えてきた愛知県においても、その産業力と日本の中心に位置する地理的特性、優れた交通インフラ等の強みを活かして、2019年に開業を予定している愛知県国際展示場に数多くのMICEを呼び込んでいくことが重要である。

中部国際空港エリア（以下「空港エリア」という。）では、愛知県国際展示場の他にも、複合商業施設や新たな宿泊施設などの整備が進められており、魅力ある滞在型観光ゾーンを実現できる可能性が高い。

空港エリアにおいて、世界中から強力に人を惹きつけ、呼び寄せる国際競争力の高い、魅力的な「MICEを核とした国際観光都市」を実現する必要がある。

2 目指すターゲットや必要となる機能整備

国際観光都市として必要な機能整備を検討する上で、初めに集客を目指す対象者を明確にする必要があるが、国内外からのMICE参加者と訪日外国人旅行者をターゲットにするのが適切と考えられる。なかでも、MICE参加者としてはモノづくり産業に関連するビジネス客等、訪日外国人としては地理的に近いアジアや、滞在日数が長い欧米からの旅行者が主要なターゲットになると考えられる。

こうしたターゲットを見据え、国際展示場に近接して国際会議場等のMICE施設を整備することにより、相乗効果が期待できる。また、長期滞在型やハイクラスホテル、個性的なデスティネーション型ホテルなど多様なニーズに対応できる宿泊施設や、24時間楽しめ、アフターコンベンションにも資する多彩なエンターテインメント施設なども必要である。

国際競争力を高めていくためには、いかに愛知らしさの特色を出していけるかも重要である。そこで、世界中から人を呼び込む仕掛けとして、自動車産業やロボット産業を始めとする愛知の最先端技術を導入し、世界へその技術を発信できるモデル未来都市を目指すことが考えられる。

また、空港エリアだけではなく、地域一体として魅力を発信していくことも重要である。このため、昇龍道など、空港からアクセスできる各地の観光資源と連携するとともに、様々な地域資源の発掘・磨き上げを行い、この地域ならではの特色ある観光資源として育て上げていくことが重要である。

さらには、空港エリアから各地域に人を送り出す機能も必要である。空港エリアのコンシェルジュ機能の充実と観光地との連携を広域的に進め、周遊観光を促進することで、日本のゲートウェイとしての国際観光都市を目指していく必要がある。

3 統合型リゾート（IR）の活用について

海外では、MICEを中心に世界中から多くの人々を呼び込むため、国際会議場、展示施設、ホテルといった施設や都市機能の整備が進められており、その整備手法として、多様な施設機能が一体となった統合型リゾート（IR）を有効に活用しているところもある。

IRについては、現在、国において具体的な制度設計が進められているところであるが、MICE施設、宿泊施設、エンターテインメント施設などを一体的に整備することにより、MICEビジネスの確立や魅力ある滞在型観光を実現するものであり、愛知県が目指すべき機能整備の方向性とも一致しているため、その活用が考えられる。

この際、国が目指す日本型IRの活用について、愛知県としても検討を進めていくべきと考える。

4 今後に向けて

愛知県及び常滑市におかれては、地元の理解を得ながら、機能整備の具体化に向けて、今後、一層の努力をお願いしたい。

国際競争力の高い「MICEを核とした国際観光都市」の実現と日本をリードする愛知の未来に大いに期待する。



Information Package

～国際観光都市の実現に向けた愛知のポテンシャル～

2018年8月21日

目次

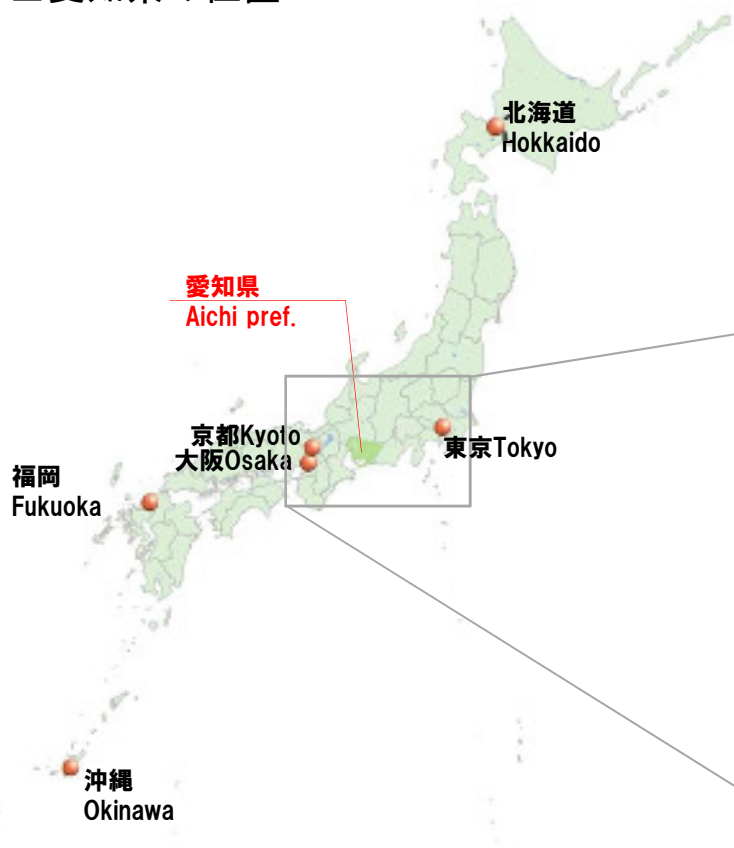
1. 愛知県の位置・人口	2
2. 経済ポテンシャル	7
3. 交流	17
4. 愛知県をとりまく状況	27
5. 中部国際空港及び周辺エリア	34

1. 愛知県の位置・人口

愛知県の位置

- ✓ 愛知県は、日本のほぼ中央に位置しており、高速道路、新幹線、名古屋港、中部国際空港など、陸・海・空の優れた交通条件を有しています。
- ✓ 今後、リニア中央新幹線の開業により、さらに広域的な高速交通ネットワークが充実していきます。

■ 愛知県の位置



■ 東京～名古屋間 所要時間

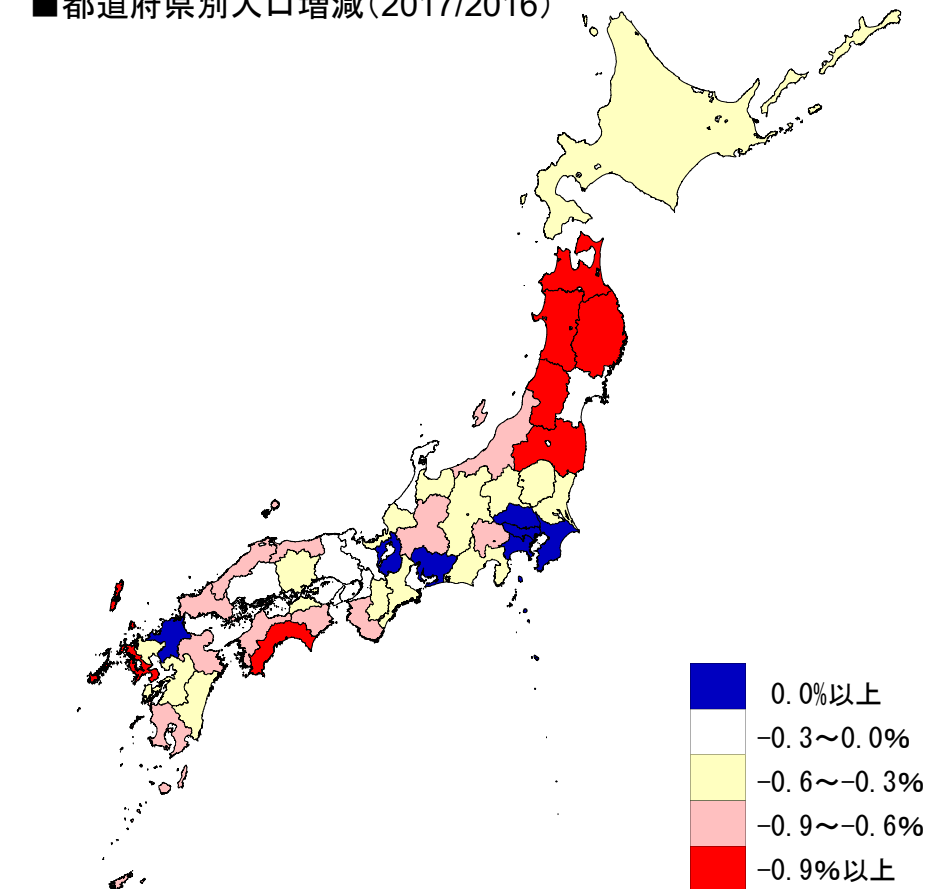
自動車	4時間20分(新東名高速道路利用)
新幹線	92分(のぞみ利用)
リニア	40分(2027年度に東京～名古屋間開業予定)



愛知県の人口

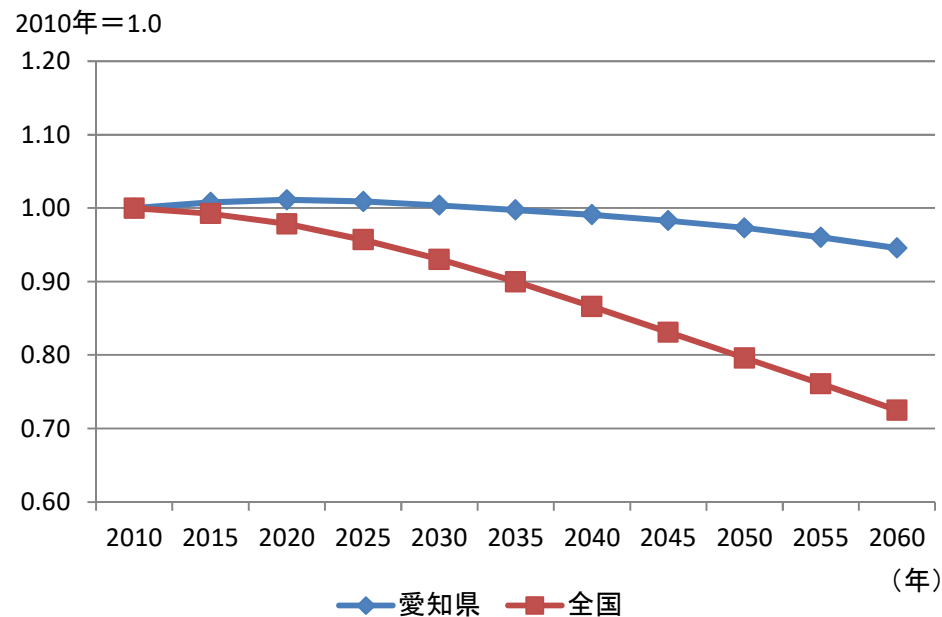
✓ 愛知県の人口は、約750万人で全国第4位。現状、人口が増えており、今後の人口減少傾向についても、全国と比べると緩やかとなっています。

■ 都道府県別人口増減(2017/2016)



出典: 総務省「人口推計」

■ 愛知県の将来人口推計

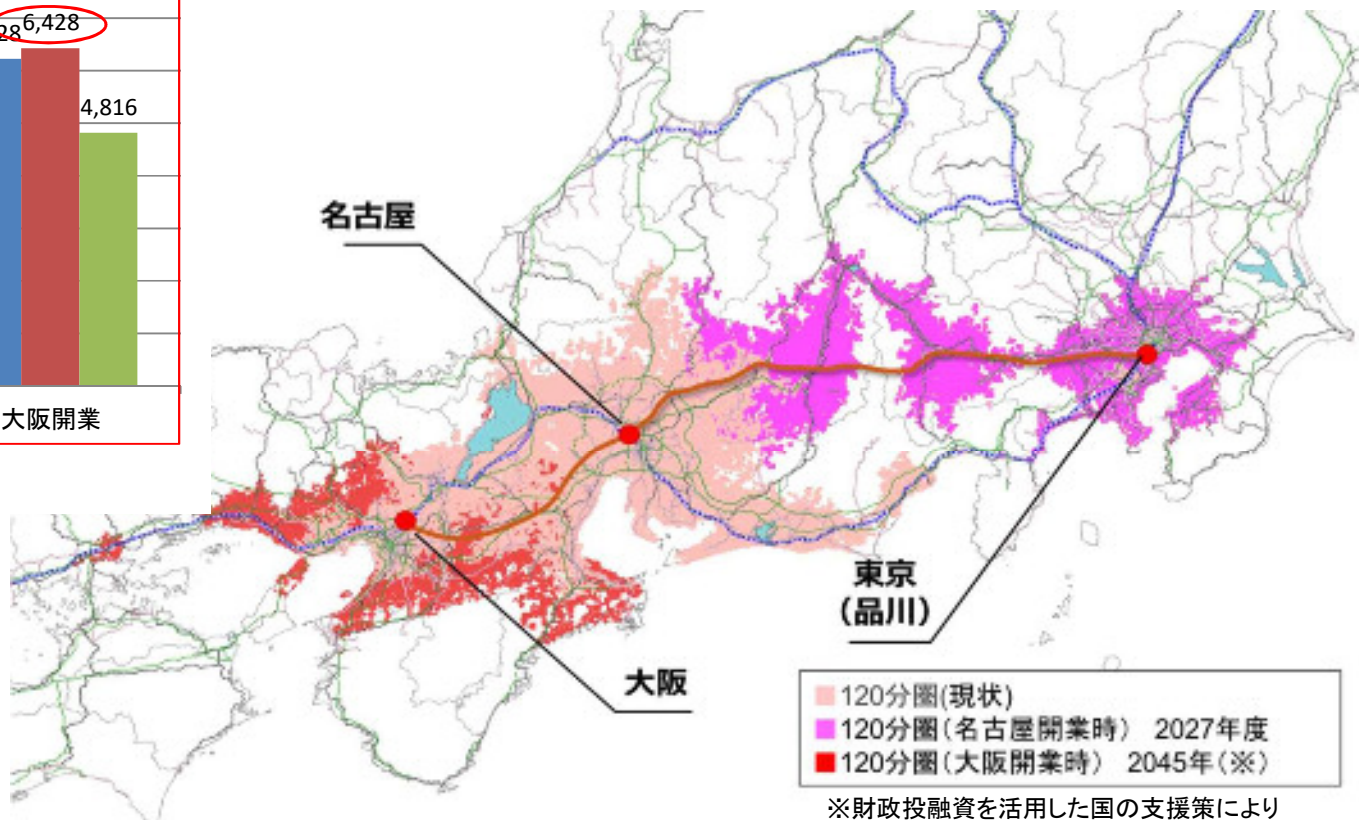
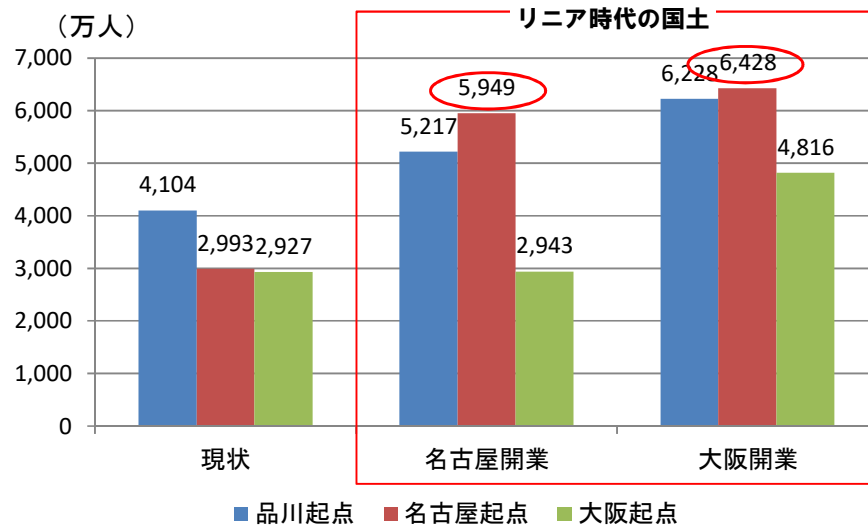


出典: 愛知県人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略
及び 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」

リニア時代の後背圏人口

- ✓ 2027年度のリニア開業後、東京～名古屋間の移動時間は約40分に短縮されます。
- ✓ 名古屋からの2時間圏人口は約5900万人を有することになり、リニア開業後の国土にあっては、我が国最大となります。

■主要都市の2時間圏人口(リニア開業時)



出典: 三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

MarketAnalyzer
www.marketanalyzer.jp

AICHI-NAGOYA "Heart" of JAPAN
-technology & tradition-

出典: 三菱UFJリサーチ&コンサルティングによる推計

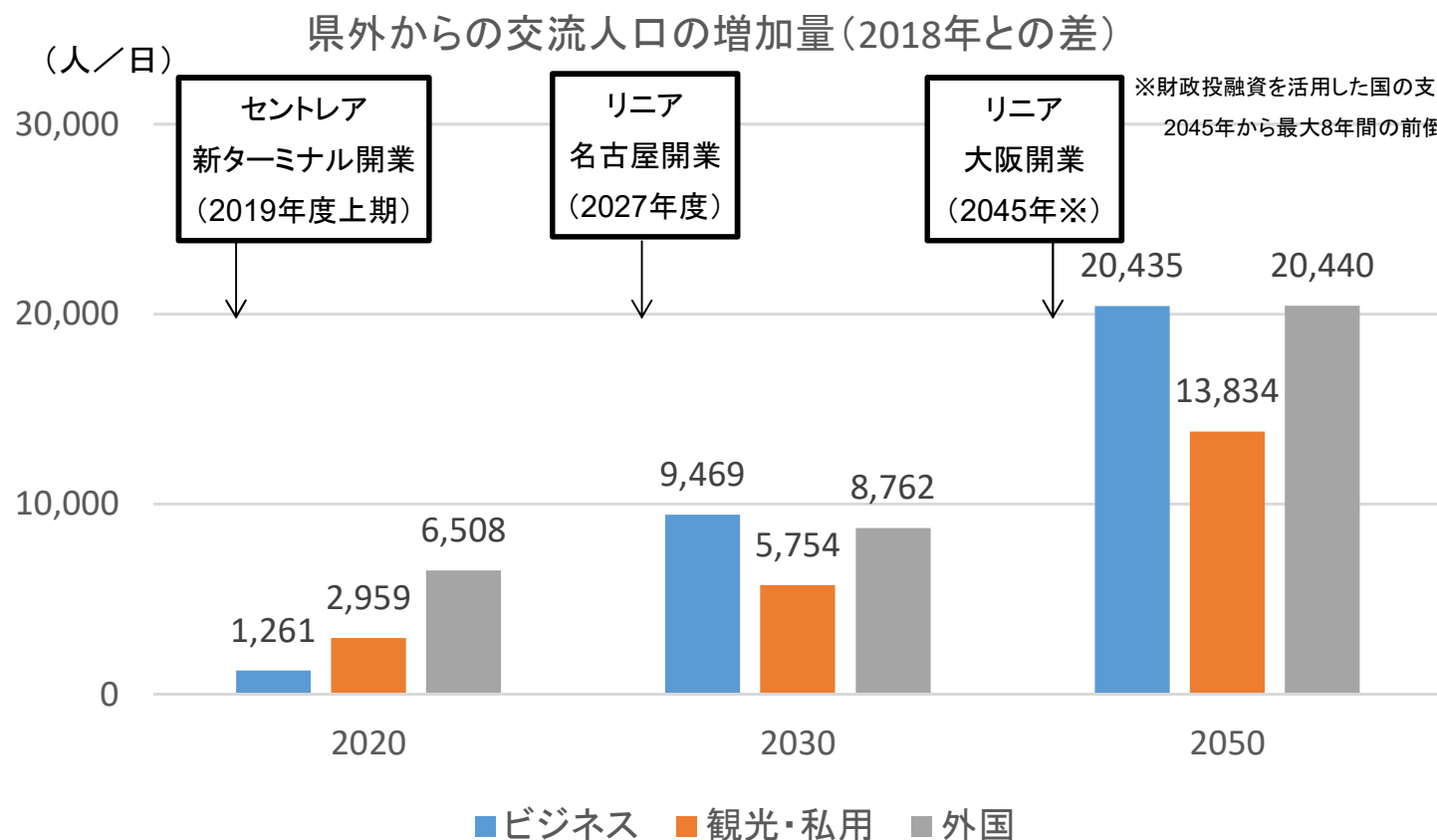
※財政投融資を活用した国の支援策により
2045年から最大8年間の前倒しが可能に。

愛知県
Aichi Prefectural Government

交流人口の変化

- ✓ リニアの東京～名古屋間の開業によって、愛知県における県外からの交流人口※は、2018年比で13.2%増加することが見込まれています。
- ✓ また、全線開業による県外からの交流人口は、2018年比で17.0%の増加が見込まれています。
- ✓ 今後、地域開発プロジェクトが進められることにより、さらなる交流人口の増加が見込まれます。

19



※財政投融資を活用した国の支援策により、2045年から最大8年間の前倒しが可能に。

【交流人口の推計について】

※交流人口は、地域旅客流動、経済成長、将来世帯数、セントレア新ターミナル、リニア開業の5つのデータの関係整理(相関分析等)により推計した。

○地域旅客流動:国土交通省「地域旅客流動調査」を用いて、ベースとなる交流人口を設定した。

○経済成長:内閣府「国民経済計算」より1997年～2017年の年の年平均名目経済成長0.11%を用いて、将来にわたり0.11%で推移するとした。

○将来世帯数:総務省「家計調査」より、交流に必要な家計の交通支出額を用いて、人口減少の影響を加味した。

○セントレア新ターミナル:中部国際空港(株)がプレスした年間旅客取扱数450万人を考慮した。

○リニア開業:JR東海の試算結果を使用した。名古屋開業は「東京～愛知間の輸送量1.5倍」、全線開業は「愛知～大阪間の輸送量2.1倍」。

2. 経済ポテンシャル

愛知県の経済ポテンシャル

- ✓ 愛知県のGRPは、国内では東京都に次いで第2位となっており、世界各国と比較しても、南アフリカ、香港、シンガポール、デンマークを上回ります。
- ✓ 愛知県の一人当たりの県民所得は、3,591(千円)で、東京都に次ぐ第2位に位置づけています。

■ GDP・GRPの比較(2015年)

国・都市名	日本円 (億円)	US Dollar (Billions)
東京都	1,043,000	854.6
(名古屋駅90分圏)	665,754	545.5
Norway	—	386.7
Austria	—	382.3
Islamic Republic of Iran	—	375.4
United Arab Emirates	—	357.9
Egypt	—	332.1
愛知県	395,593	324.1
大阪府	391,069	320.4
South Africa	—	317.7
Hong Kong SAR	—	309.4
Singapore	—	304.1
Denmark	—	301.3
神奈川県	339,188	277.9
埼玉県	223,323	183.0
兵庫県	204,950	167.9
千葉県	202,186	165.7

■ 一人当たり県民所得(2015年)

順位	都道府県	千円
1	東京都	5,282
	(名古屋駅90分圏)	4,748
2	愛知県	3,591
3	静岡県	3,217
4	栃木県	3,265
5	富山県	3,185
6	広島県	3,145
7	三重県	3,144
8	滋賀県	3,126
9	山口県	3,126
10	群馬県	3,092

※1ドル=122.05円で換算

出典:内閣府「県民経済計算(平成13年度 - 平成26年度)

及びIMF「World Economic Outlook Database, April 2018」

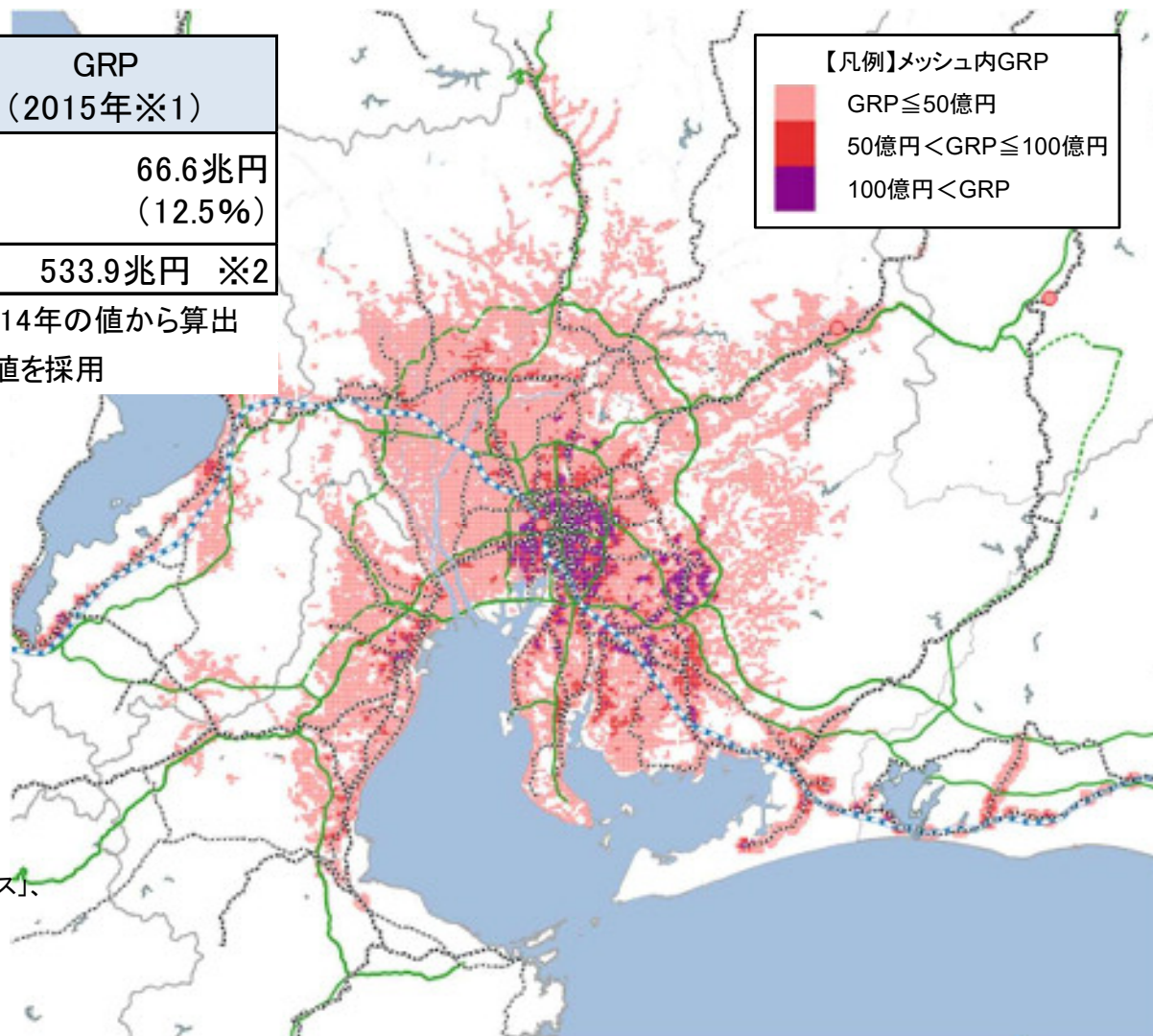
名古屋駅90分圏の経済ポテンシャル

✓名古屋駅90分圏には、1400万人の人口集積が有り、そのGRPは、ノルウェーのGDPを上回り、66.6兆円であり、日本全体の12.5%を占めます(人口の集積は11.0%)。

	人口 (2015年)	GRP (2015年※1)
名古屋駅90分圏 (日本全体に占める割合)	1,402万人 (11.0%)	66.6兆円 (12.5%)
日本全体	1億2709万人	533.9兆円 ※2

※1 岐阜県、静岡県、三重県、京都府については2014年の値から算出

※2 2015年の全国GRP合計は未公表のため、GDP値を採用



【凡例】メッシュ内GRP
 GRP ≤ 50億円
 50億円 < GRP ≤ 100億円
 100億円 < GRP

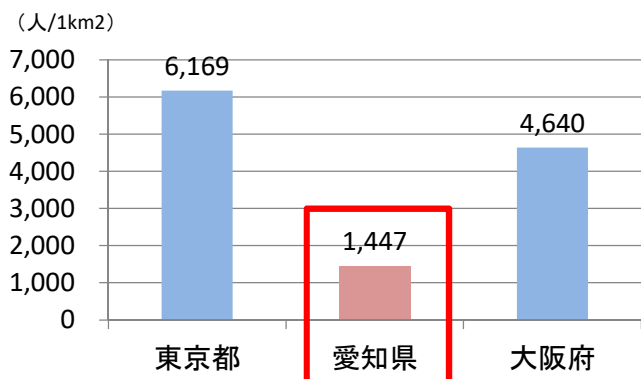
出典: 各都道府県「県民経済計算」、総務省統計局「経済センサス」、
 「国勢調査」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

(※) 鉄道+高速道路の2モードによる移動は含まない

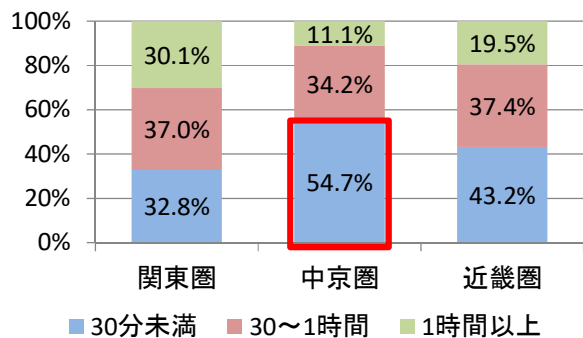
愛知県のゆとり（空間的ゆとり、時間的ゆとり、経済的ゆとり）

✓ 愛知県は、大都市でありながら人口密度が低く、平均通勤時間も30分未満が5割を超え、空間的、時間的なゆとりがあります。また、物価が安い事に加え、1世帯あたりの貯蓄額も比較的高く、経済的なゆとりもあります。

■人口密度(1km²あたり)



■三大都市圏の平均通勤時間



出典:総務省「平成27年国勢調査」

■物価地域差指数(全国平均=100)

順位	都道府県	指数
1	東京都	104.4
2	神奈川県	104.3
3	埼玉県	101.5
4	京都府	100.8
4	兵庫県	100.8
6	山形県	100.7
7	石川県	100.4
8	長崎県	100.2
9	千葉県	100.0
9	大阪府	100.0
9	和歌山県	100.0
34	愛知県	98.2

出典:総務省「小売物価統計調査(構造編)年報 平成28年」

■1世帯当たりの貯蓄額

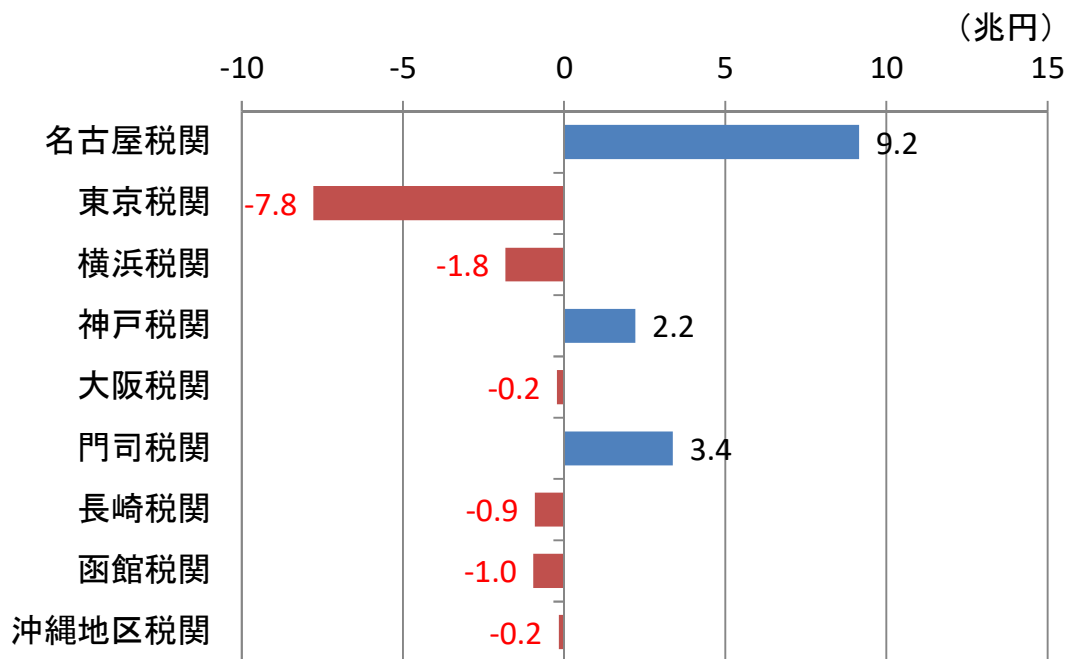
順位	都道府県	金額(千円)
1	東京都	19,669
2	神奈川県	19,035
3	福井県	18,562
4	愛知県	18,551
5	香川県	18,215
6	奈良県	17,849
7	和歌山県	17,629
8	千葉県	17,479
9	三重県	17,209
10	富山県	17,170
24	大阪府	15,017

出典:総務省「平成26年全国消費実態調査(二人以上の世帯)」

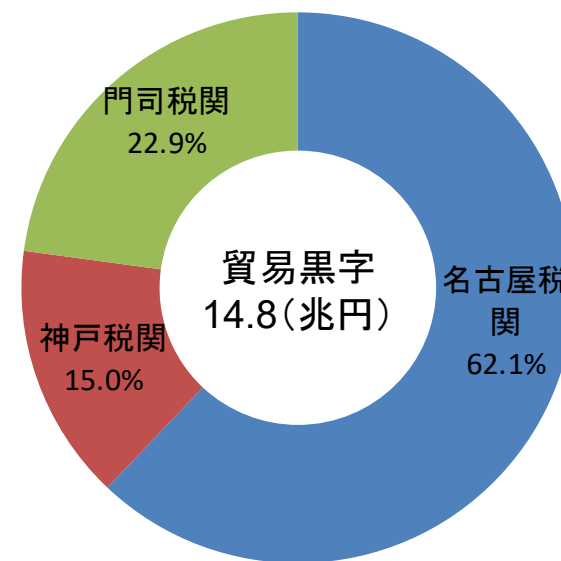
愛知県の貿易額

- ✓ 愛知県の港湾および空港は、我が国の貿易を支える代表的な交易拠点であり、貿易黒字の6割以上を担っています。
- ✓ その中心は名古屋港からの完成自動車および輸送機械機器の部品などの輸出品で構成されています。

■ 税関別貿易収支



■ 貿易収支黒字内訳

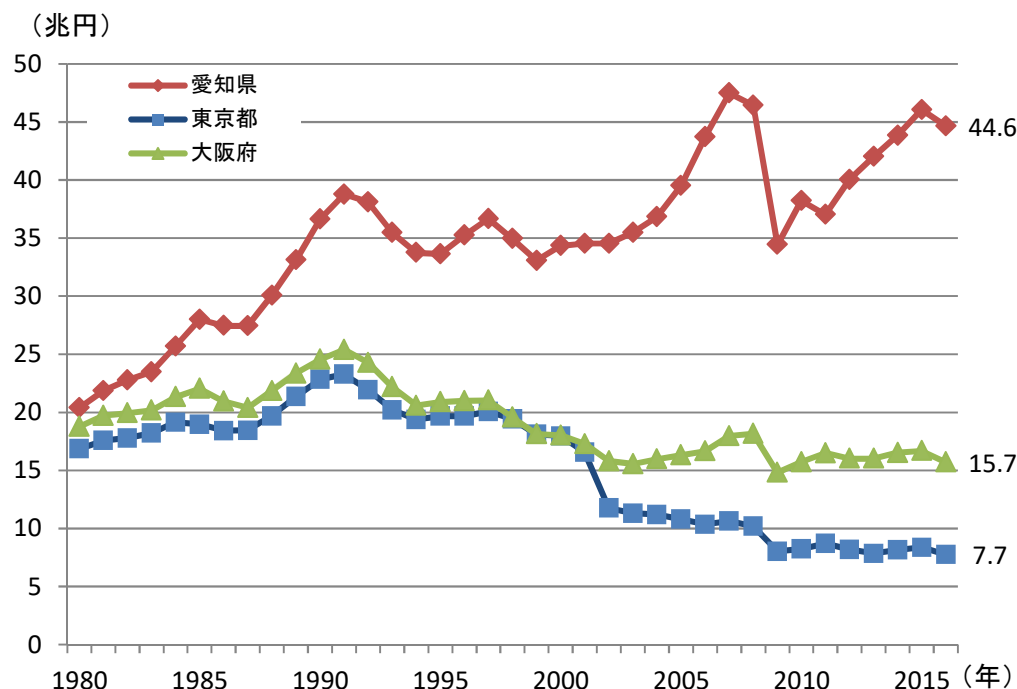


出典: 名古屋税関「平成29年分管内貿易概況」

愛知県のものづくり産業

✓ 愛知県の製造品出荷額等は、44兆6,416億円(2016年)であり、東京・大阪を大きく引き離し、40年連続で日本一です。

■ 製造品出荷額等の推移



出典:工業統計調査(経済産業省)、経済センサス-活動調査(総務省・経済産業省)
※2016値は速報値

■ 愛知の《全国シェア1位》の業種(11業種、2016年)



世界のトップメーカーが集まる愛知県（自動車産業）

✓ 愛知県の自動車産業は全国シェア約4割で全国第1位を示し、とりわけ世界的な完成車・関連部品メーカーが数多く集積しています。

■ 主な自動車産業(完成車・関連部品・素材メーカー)の集積状況



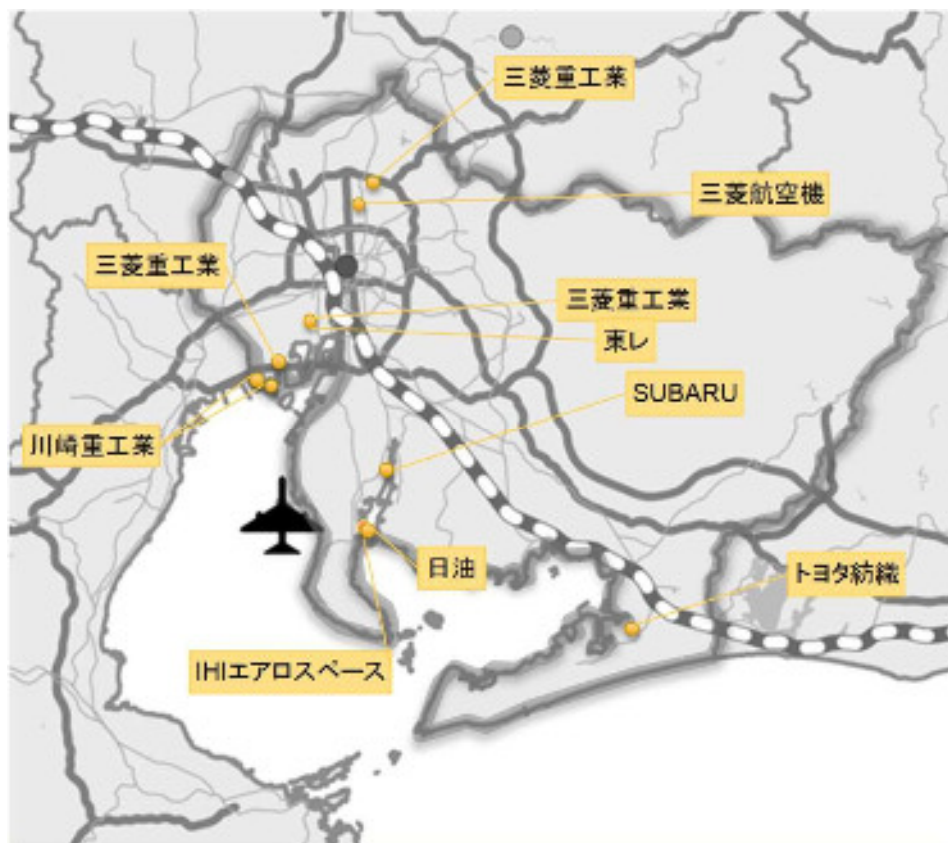
社名	従業員数	売上げ(億円)
トヨタ自動車	73,875	114,763
デンソー	38,914	24,728
三菱自動車工業	13,222	15,674
豊田自動織機	13,659	12,528
アイシン・エイ・ダブリュ	18,000	12,045
アイシン精機	13,591	8,082
トヨタ紡織	8,206	6,844
アドヴィックス	3,100	3,280
東海理化電機製作所	6,193	2,396
フタバ産業	3,243	2,351
三五	2,256	2,090
愛知機械工業	1,780	1,326
愛三工業	2,833	908

出典: 東京商工リサーチ

世界のトップメーカーが集まる愛知県（航空宇宙産業）

✓ 愛知県の航空宇宙産業は、全国の航空機・部品の5割以上、航空機体部品の約8割を生産し、日本最大、アジアNo.1の航空宇宙産業の集積地です。

■主な航空宇宙産業の集積状況



社名	従業員数	売上げ(億円)
SUBARU	14,712	20,593
三菱重工業	16,824	11,978
川崎重工業	16,162	11,724
トヨタ紡織	8,206	6,844
東レ	7,220	5,470
日油	1,658	1,191
IHIエアロスペース	932	483
三菱航空機	1,600	非上場

出典：東京商工リサーチ

愛知県にいきづく最先端技術

- ✓ 愛知県は、自動車産業の強みを活かし、次世代自動車の開発、自動運転の実証実験を先導的に実施するとともに、水素ステーション等のインフラ整備が進んでいます。
- ✓ 愛知県のロボット製造業の製造品出荷額等、事業所数、従業者数は、いずれも全国1位です。「あいちロボット産業クラスター推進協議会」(平成26年11月)を設立し、「医療・介護分野ロボット」、「無人飛行ロボット」などの分野において、ロボット産業を振興しています。

■次世代自動車(FCV)の開発



トヨタ自動車(株)MIRAIの組立工場

■自動運転の実証実験



平成29年12月、全国初の一般公道での遠隔型自動運転実証実験の実施(幸田町)

■医療・介護等分野ロボットの活用

○リハビリ支援ロボットの実証実験

・リハビリ患者の増加や医療人材の不足が深刻化する中、効率的・効果的な治療として期待される「リハビリ支援ロボット」を用いた実証実験を支援



リハビリ支援ロボット



歩行支援ロボット

■無人飛行ロボットの活用

○火災消火活動の実証実験

・消防車や人による消火が困難な区域を想定し、映像を地上に送信しながら、消火剤の投下装置を搭載した無人飛行ロボットによる消火活動の実証実験を支援



消火活動用飛行ロボット

安全な区域で無人飛行ロボットを操作

人が立ち入れない区域での火災・災害など

○害獣捕獲・生態系調査支援の実証実験

・農山村地における害獣対策の負担軽減を図るため、無人飛行ロボットによる害獣捕獲支援(撒餌、監視、捕獲物搬送等)や生態系調査の実証実験を支援

ノーベル賞受賞者のゆかりの地

✓ 自然科学分野における日本のノーベル賞受賞者のうち、7名が愛知・名古屋にゆかりのある科学者です。

■ 愛知県にゆかりのあるノーベル賞受賞者

氏名	賞	年次	ゆかり
野依 良治	化学賞	平成13年(2001年)	名古屋大学理学部教授 名古屋大学物質科学国際研究センター長
小林 誠	物理学賞	平成20年(2008年)	愛知県名古屋市出身 名古屋大学理学部卒、理学博士(名古屋大学)
益川 敏英	物理学賞	平成20年(2008年)	愛知県名古屋市出身 名古屋大学理学部卒、理学博士(名古屋大学)
下村 脩	化学賞	平成20年(2008年)	名古屋大学理学博士
赤崎 勇	物理学賞	平成26年(2014年)	名古屋大学工学博士、名古屋大学特別教授 等 名城大学大学院理工学研究科終身教授
天野 浩	物理学賞	平成26年(2014年)	名古屋大学工学部卒、工学博士(名古屋大学) 名古屋大学特別教授、名城大学理工学部教授
大隅 良典	生理学・医学賞	平成28年(2016年)	基礎生物学研究所(岡崎市)

3. 交 流

国際交流の歴史

✓ 愛知県および近隣地域では、これまで国際的なイベントや会合など、世界から注目される交流機会を有しており、世界の要人を受け入れる環境と実績を有しています。

■ 愛知県内で開催された国際的なイベント

年	国際イベントなど
1971	第31回世界卓球選手権(ピンポン外交)
1989	世界デザイン博覧会開催
2004	ITUトライアスロン・ワールドカップ蒲郡大会開催
2005	日本国際博覧会(愛知万博)開催
2010	生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)開催
2010	あいちトリエンナーレ初開催
2012	名古屋ウィメンズマラソン初開催
2014	愛知で持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議開催
2017	ロボカップ2017名古屋世界大会開催
2017	セーリングワールドカップ開催
2017	フィギュアスケートグランプリファイナル開催

愛・地球博



名古屋ウィメンズマラソン



■ 愛知県近郊で開催された国際的なイベント

年	国際イベントなど
1987~	F1日本グランプリ(鈴鹿サーキット) (2007年、2008年は富士スピードウェイ)(三重県)
1994	三重世界祝祭博(三重県)
2016	伊勢志摩サミット

出典: 三菱UFJリサーチ&コンサルティング調べ

主なイベント等の開催・集客施設の開業予定

✓リニアが開業するまでのおおむね10年間は、世界から注目を集める大規模イベントや集客施設の開業が予定されており、さらなる賑わいの創出が期待されています。

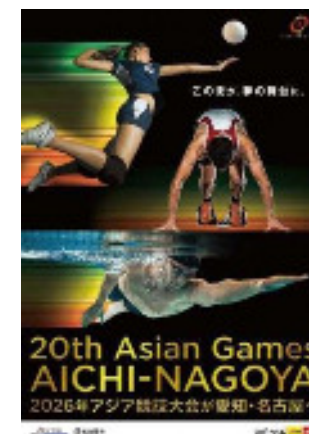
■2018年～2027年までの主なプロジェクト動向

年	主なプロジェクト、施設整備、イベント開催状況等
2018年	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋城の金シャチ横丁 開業(名古屋市) ・名古屋城本丸御殿 完成公開(名古屋市) ・御園座 新装開場(名古屋市) ・レゴランド・ジャパン・ホテルシーライフ名古屋 開業(名古屋市) ・ららぽーと名古屋みなとアクルス 開業(名古屋市) ・2018 ISA 世界サーフィン選手権 開催(田原市)
2019年	<ul style="list-style-type: none"> ・G20外相会合 開催(名古屋市) ・日本医学会総会2019中部 開催(名古屋市) ・第57回技能五輪全国大会、第39回全国アビリンピック 開催(常滑市) ・第70回全国植樹祭あいち2019 開催(尾張旭市) ・ラグビーワールドカップ2019(豊田市)
2020年	<ul style="list-style-type: none"> ・人工知能国際会議(IJCAI)2020 開催(名古屋市) ・第58回技能五輪全国大会、第40回全国アビリンピック 開催(常滑市) ・ワールドロボットサミット2020 開催(常滑市) ・FIFAフットサルワールドカップ2020 開催(名古屋市)(招致中)
2021年以降	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋城木造天守復元 竣工(名古屋市) ・ポートメッセなごや 第1展示館 移転開業(名古屋市) ・名駅名古屋駅地区再開発(名古屋市) ・ジブリパーク 整備(長久手市) ・第20回アジア競技大会 開催 ・リニア中央新幹線 開業 ・技能五輪世界大会(招致中)

ラグビーワールドカップ



アジア競技大会



ジブリパーク整備予定地(モリコロパーク)



集客・宿泊施設の集積状況（名古屋市内）

✓ 名古屋市内の主なホテル、エンターテイメント施設、イベントホール、展示施設の集積状況は以下のとおりとなります。

- 中部国際空港から概ね1時間以内で到達出来る施設を抽出
- ホテルは、客室数が上位で、ホテル内にコンベンション用のホールを有するものを抽出。(客室のみのビジネスホテルは含まない)
- エンターテイメント施設、イベントホールは、主な施設を抽出



中部国際空港

出典: 三菱UFJリサーチ & コンサルティング調べ

豊富な観光資源（愛知県内）

✓ 愛知県には多様で魅力的な観光スポットが多数分布しています。中部国際空港エリアから道路や鉄道を使って、日帰りで立ち寄ることが可能です。



あいち航空ミュージアム



名古屋城



国宝犬山城



小原四季桜



芝桜(茶臼山高原)



岡崎城



トヨタ産業技術記念館



博物館明治村



カクキュー八丁味噌



リニア・鉄道館



恋路ヶ浜



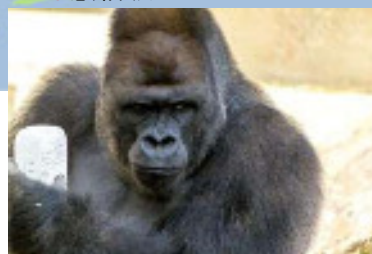
ラグーナテンボス



レゴランド



名古屋港水族館



東山動植物園



ミツカンミュージアム

出典: 愛知県の公式観光ガイド
©Aichi Now



豊富な観光資源（愛知県内イベント・祭事等）

✓ 愛知県には、なごやまつり、にっぽんど真ん中まつりをはじめ、県内各地で年間を通じて様々なイベント・祭事が行われています。

※開催期間が長期間にわたるものは、開始時期で整理
 ※★はユネスコ無形文化遺産登録「山・鉾・屋台行事」に該当するもの

■行祭事・イベント(2016年実績)

開催月	自治体	イベント名	集客規模(人)
4月	小牧市	小牧山さくらまつり	116,496
	岡崎市	桜まつり	661,000
	犬山市	犬山祭★	330,000
	岡崎市	家康行列	460,000
	豊根村	芝桜まつり	260,000
	江南市	江南藤まつり	533,000
	津島市	尾張津島藤まつり	351,300
	岡崎市	藤まつり	400,000
5月	知立市	知立まつり★	30,000
	半田市	亀崎潮干祭★	100,000
	一宮市	いちのみやりバーサイドフェスティバル	149,077
	名古屋市	世界コスプレサミット	248,000
	豊橋市	豊橋市 花しょうぶまつり(賀茂しょうぶ園)	200,000
	碧南市	花しょうぶまつり(油ヶ渚遊園地)	147,000
	豊川市	豊川市民まつり	253,000
6月	清須市	尾張西枇杷島まつり	200,000
7月	瀬戸市	せとなつ	124,000
	西尾市	西尾祇園祭	280,000
	春日井	春日井市民納涼まつり	177,000
	津島市	尾張津島天王祭★	240,000
	一宮市	一宮七夕まつり	1,220,000
	豊田市	豊田おいでんまつり	501,800
	蒲郡市	蒲郡まつり	220,000
	岡崎市	岡崎城下家康公夏まつり花火大会	500,000

開催月	自治体	イベント名	集客規模(人)
8月	安城市	安城七夕まつり	1,040,000
	犬山市	日本ライン夏まつり	230,000
	蟹江町	須成祭★	
	東海市	東海まつり花火大会	130,000
	一宮市	濃尾大花火	180,000
	刈谷市	刈谷わんさか祭り	153,000
	名古屋	にっぽんど真ん中まつり	2,202,000
	9月	瀬戸市	せともの祭
10月	清須市	清洲城信長まつり	161,193
	常滑市	常滑焼まつり	200,000
	春日井	春日井まつり	242,800
	名古屋	なごやまつり	2,207,300
	豊橋市	豊橋まつり	650,000
	小牧市	小牧市民まつり	190,000
	一宮市	びさいまつり	180,000
11月	刈谷市	万燈祭	113,000
	豊田市	小原四季桜まつり	136,887
	岡崎市	岡崎城下家康公秋まつり	140,000
	東海市	東海秋まつり	297,000
	新城市	新城ラリー	54,000
	新城市	鳳来寺山もみじまつり	113,499
	稲沢市	そぶえイチョウ黄葉まつり	155,000
1月	田原市	菜の花まつり	145,567
2月	知多市	佐布里池梅まつり	141,000
3月	岩倉市	岩倉桜まつり	335,000
	半田市	春の山車まつり	187,800

出典: 愛知県「平成28年愛知県観光レクリエーション利用者統計」

豊富な観光資源（愛知県周辺）

✓ 愛知県周辺には自然・歴史・文化をテーマとした多様な観光スポットが 1泊圏で多数分布しており、中部国際空港から道路や鉄道で容易にアクセスできます。

36



下呂温泉



伊賀上野城 忍者の里



京都



伊勢神宮



白川郷

東尋坊

金沢

リニア中央新幹線(2027年度開業)

中部国際空港

大阪

比叡山



熊野古道



海女小屋



馬籠宿



スノーモンキー



立山黒部アルペンルート



映画「君の名は。」舞台 (飛騨市)



高山



富士山

23

盛んなスポーツ

✓ 愛知県では、我が国のプロスポーツチームが数多く拠点を置いています。また、様々なスポーツを手軽に楽しむことができます。

■スポーツ資源の集積

- ・プロ野球：中日ドラゴンズ
- ・Jリーグ(サッカー)：名古屋グランパス
- ・Fリーグ(フットサル)：名古屋オーシャンズ
- ・Bリーグ(バスケット)：名古屋ダイヤモンドドルフィンズ
- ・大相撲名古屋場所
- ・フィギュアスケート
- ・新城ラリー
- ・マリンスポーツ(サーフィン、セーリング)
- ・競馬・競輪・競艇 等



中日ドラゴンズ(野球)



名古屋グランパス(サッカー)



名古屋オーシャンズ(フットサル)



Bリーグ(バスケット)



新城ラリー



サーフィン



セーリング



大相撲名古屋場所

出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング調べ

多様な食文化

- ✓ 名古屋めしをはじめとしたご当地グルメは、国内外の旅行者の観光来訪のきっかけ、楽しみのひとつとなっています。
- ✓ 農林水産業が盛んであり、質の高い多様な食文化を形成しています。



ひつまぶし



みそかつ



手羽先



味噌煮込みうどん



豊橋カレーうどん



きしめん



天むす



抹茶スイーツ



うなぎ



ガマゴリうどん



いなり寿司



ふぐ・たこ



やきそば(碧南)



和菓子



日本酒

豊かな自然環境

✓ 愛知県は、海と山に囲まれ、四季の移ろいを豊かに感じられ、様々な花を見られるほか、雪景色も楽しむことができます。



鶴舞公園 花まつり



内海海水浴場



香嵐渓



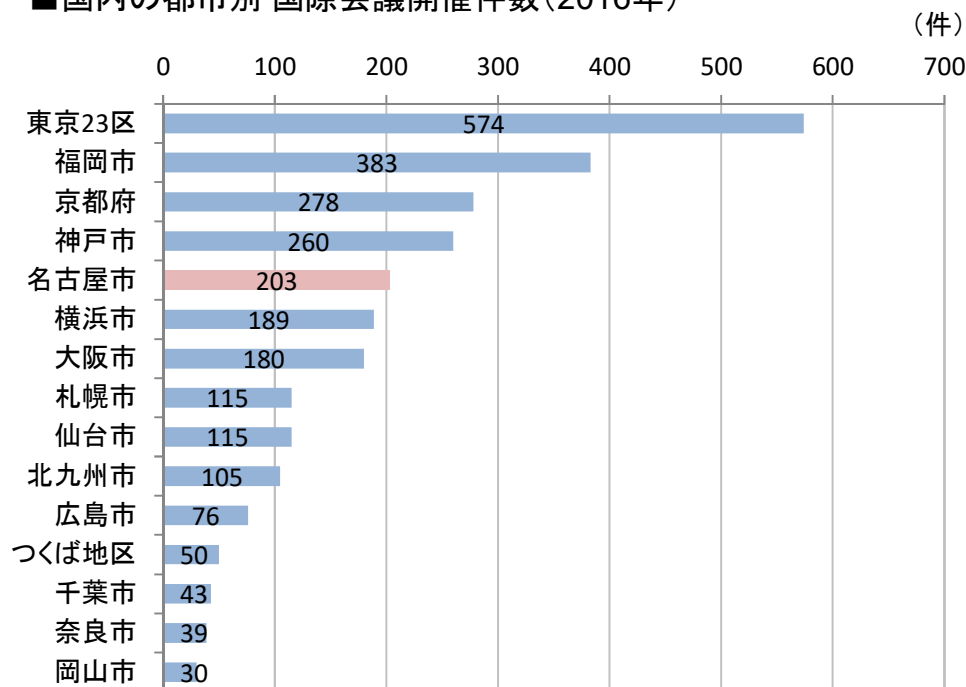
愛知県森林公園の雪景色

4. 愛知県をとりまく状況

MICEの動向（国際会議）

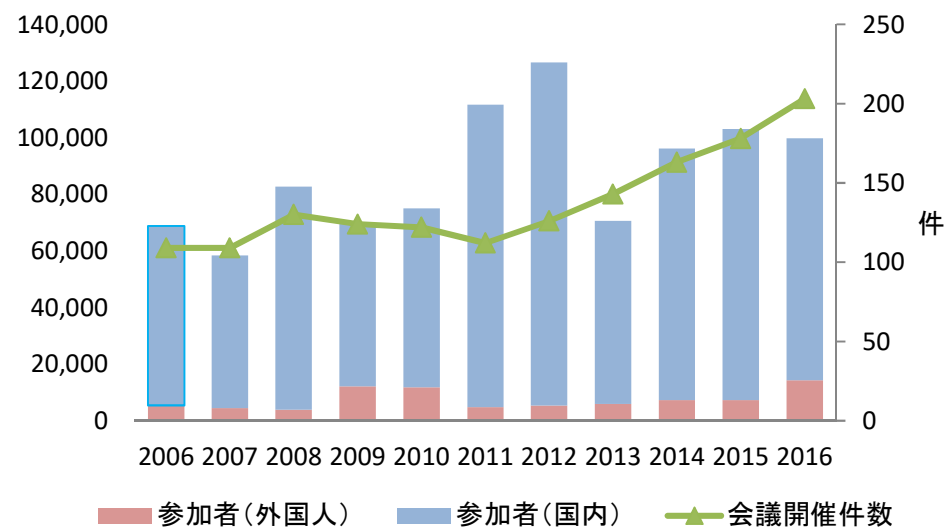
✓ 国内の国際会議開催件数(2016年)をみると、名古屋市は第5位となっており、2011年以降、増加傾向となっています。

■ 国内の都市別 国際会議開催件数(2016年)



出典:国際会議統計(JNTO)

■ 名古屋市の国際会議開催件数および参加者数の推移



出典:国際会議統計(JNTO)

愛知県のMICE戦略

✓「あいち観光戦略」では、MICEに関する推進方策を策定し、各種取組を展開しています。

戦略Ⅳ MICE・スポーツ大会を通じた誘客推進

MICEの誘致、全国・世界に打ち出せるスポーツ大会の招致・育成を推進するとともに、受入環境を整備することで、本県の交流人口の増大を図る。

【重点プロジェクト】

MICEの誘致

- ・MICE誘致のためのPR・プロモーション

受入環境の整備

- ・大規模展示場の整備に向けた取組

スポーツ大会の招致・育成

- ・ラグビーワールドカップ2019の開催支援
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の競技招致および合宿誘致
- ・FIFAフットサルワールドカップ2020の招致と開催支援
- ・アジア競技大会などの国際的スポーツ大会の招致検討

その他のプロジェクト

- ・愛知芸術文化センターを活用した誘客
- ・県内で開催される大規模催事・展示会等のPR

【数値目標】

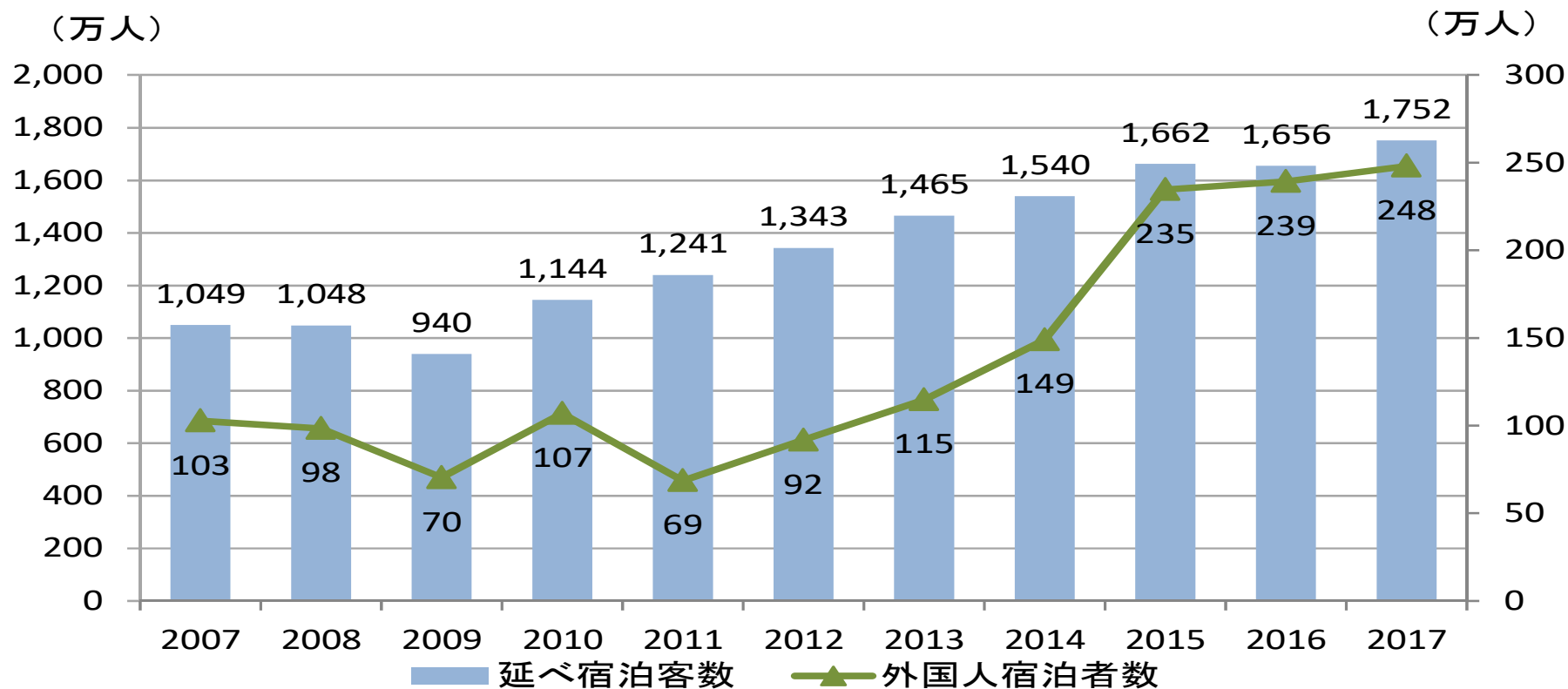
○国際会議開催件数

179件(2014年) ⇒ 200件(2020年)

愛知県の宿泊者数

- ✓ 愛知県の宿泊者数は、2017年で1,752万人です。
- ✓ 外国人宿泊者数は、2011年以降増加傾向で、2017年には248万人を示しています。

■ 訪日外国人延べ宿泊者数



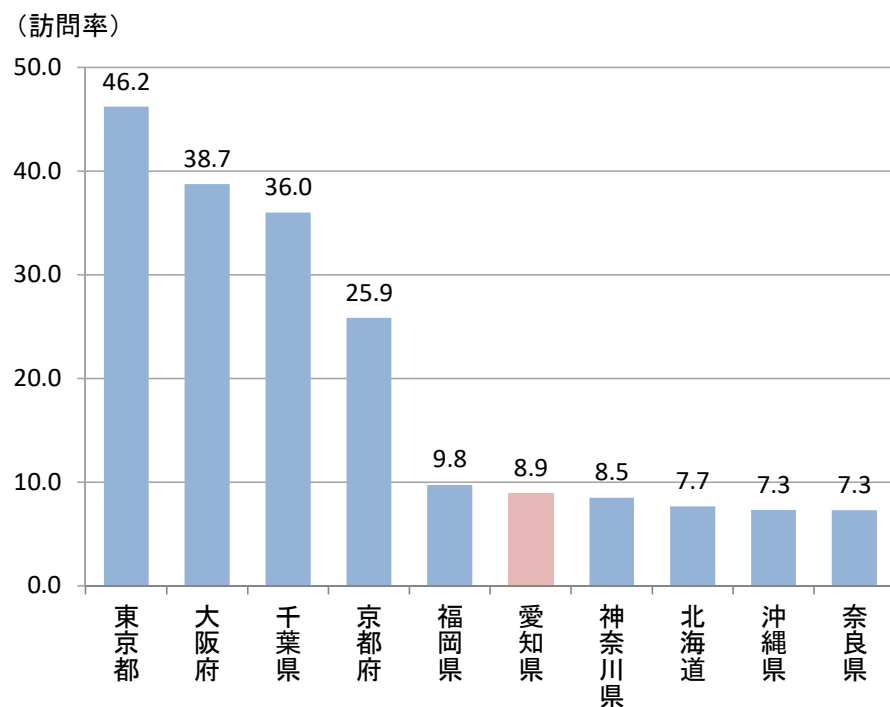
出典: 国土交通省観光庁「宿泊旅行統計調査」

訪日外国人の状況（訪問率・訪問目的）

- ✓ 訪日外国人の訪問率を都道府県別にみると、愛知県は6位(8.9%)に位置付けています。
- ✓ 目的別にみると、愛知県は観光目的が約64%で、ビジネス目的での来訪が多いことがわかります。

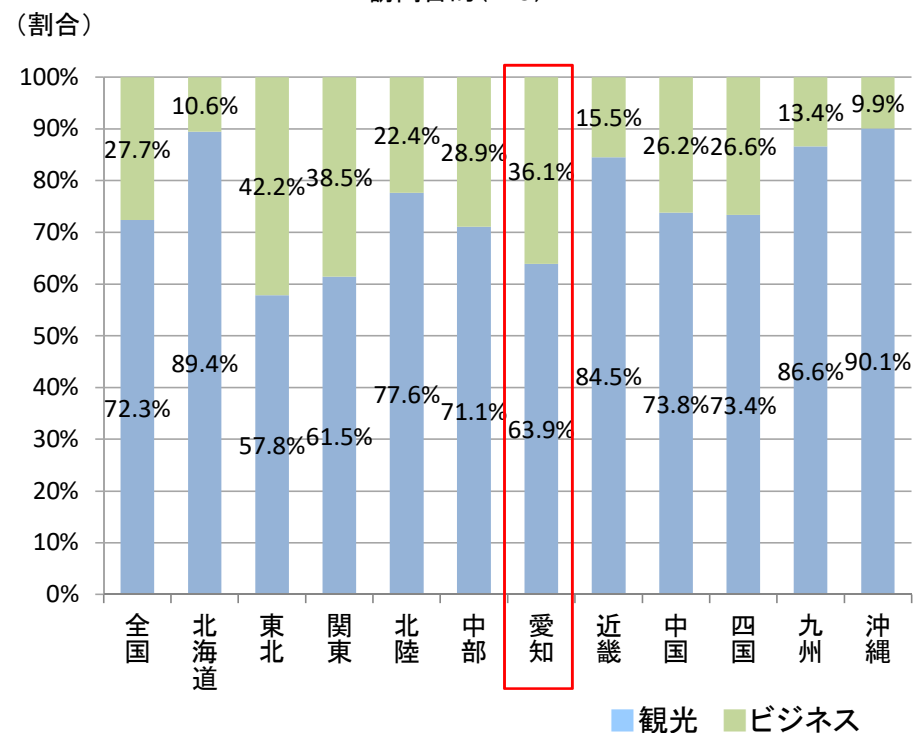
■ 訪日外国人訪問率

都道府県別訪問率(H29年・上位10県)



■ 訪日外国人目的別訪問状況

訪問目的(H29)



出典: 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

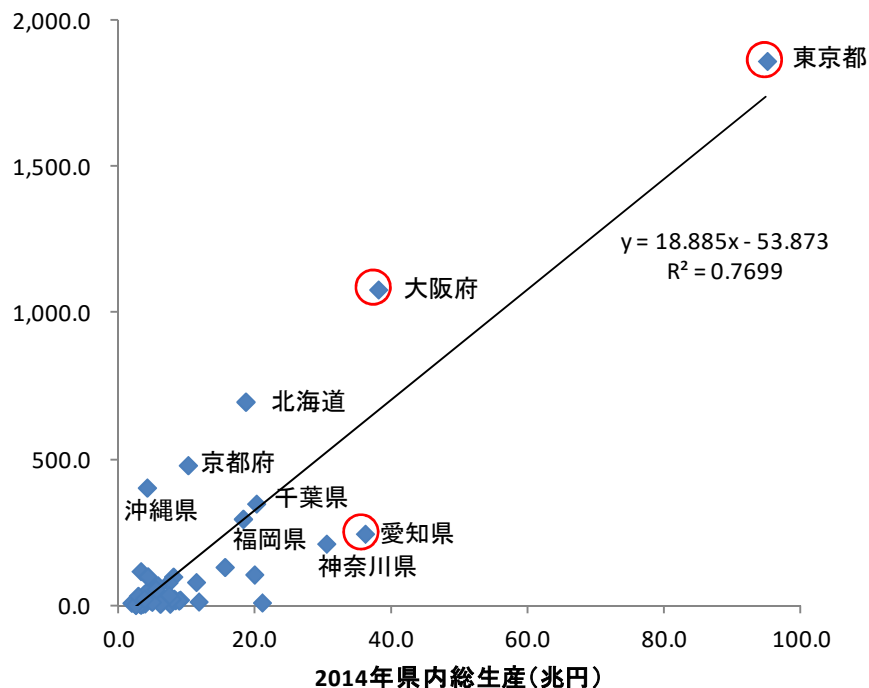
出典: 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

訪日外国人の状況（経済ポテンシャルと宿泊者数の関係性）

✓ 愛知県の外国人延べ宿泊者数については、経済規模に比べて低く、中部地方のインバウンド消費額(1人当たり)についても、全国、関東、関西に比べて低い状況となっており、当地域の魅力を一層高めていくことが急務となります。

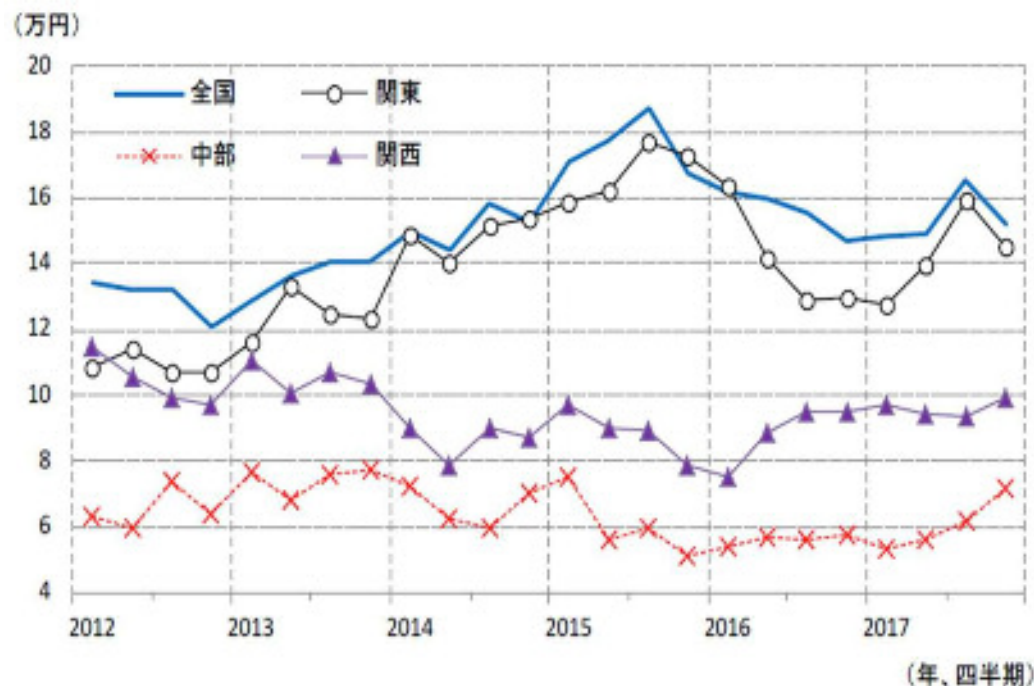
■外国人延べ宿泊者数と県民経済計算との関係性

外国人延べ宿泊者数(万人)



出典：平成29年宿泊旅行統計調査(速報値)(国土交通省)、
県民経済計算(平成26年度)(平成17年基準計数)(内閣府)

■訪日外国人の消費額



出典：中部圏のインバウンド消費(2017年10-12月期、2017年暦年)
三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート(2018年1月24日)」

大型クルーズ船寄港状況

- ✓ 名古屋港には大型クルーズ船が寄港しています。
- ✓ 乗客4000名を超える世界有数の超大型船も来港しています。

■名古屋港の大型クルーズ船寄港状況(2018年、予定含む)

船名	総トン	着岸岸壁	寄港回数
クァンタム・オブ・ザ・シーズ	168,666	金城ふ頭	2
ダイヤモンド・プリンセス	115,906	金城ふ頭	5
コスタ ネオロマンチカ	57,150	ガーデンふ頭	3
飛鳥Ⅱ	50,142	ガーデンふ頭	4
アマデア	29,008	ガーデンふ頭	1
シルバー・シャドー	28,258	ガーデンふ頭	1
ぱしふいっくびいなす	26,594	ガーデンふ頭	18
につぼん丸	22,472	ガーデンふ頭	5

出典:名古屋港管理組合ウェブサイト「平成30年 クルーズ船入港予定表」



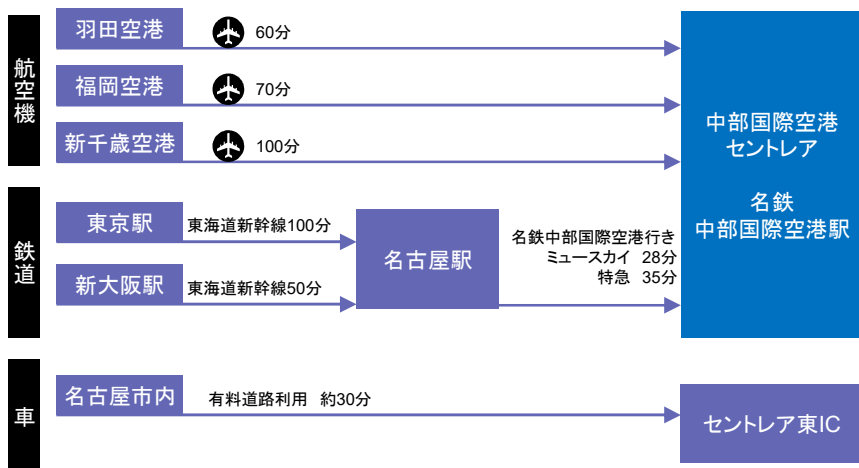
5. 中部国際空港及び周辺エリア

中部国際空港への交通アクセス

✓ 中部国際空港は、全国各地からの航空アクセスだけでなく、鉄道、道路のネットワークにより、愛知県内および周辺各地からのアクセスが充実しています。

■ 中部国際空港へのアクセス

< 広域アクセス >



< 近郊からのアクセス >



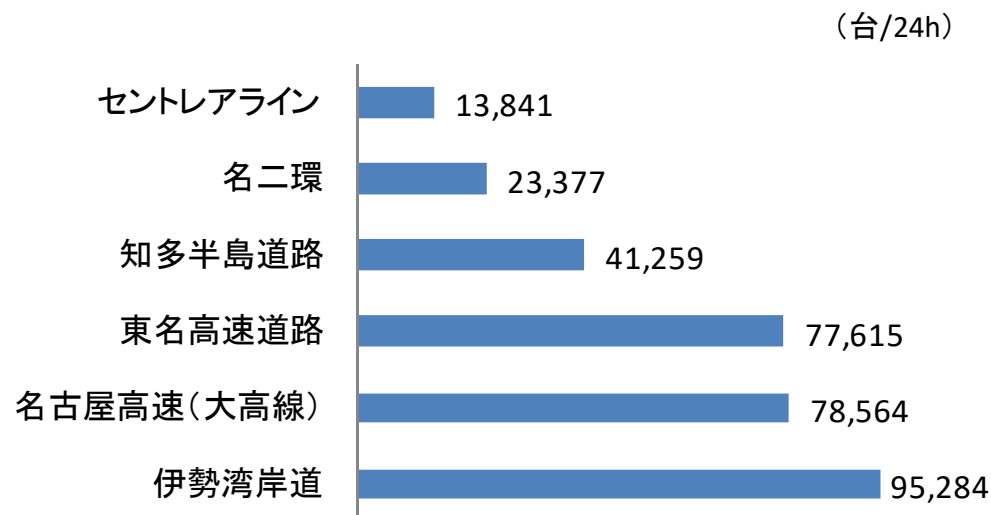
中部国際空港への道路アクセス

- ✓ 中部国際空港へは、名古屋中心部から鉄道(名鉄)と、高速道路で結ばれています。
- ✓ 高速道路は比較的交通量が少なく、交通渋滞も発生しにくいいため、スムーズな移動が可能です。

■ 中部国際空港へのアクセス



■ 主な高速道路の交通量



【対象区間】セントレアライン:りんくうIC～常滑IC、
 名二環:名古屋南JCT～有松IC、
 知多半島道路:阿久比IC～半田中央IC.JCT、
 東名高速道路:名古屋IC～日進JCT、
 名古屋高速(大高線):高針～堀田、
 伊勢湾岸道:名港中央IC～名港潮見IC

出典:平成27年度全国道路・街路交通情勢調査(道路交通センサス)

機能整備の中心となる対象エリア

✓ 機能整備の中心となる中部国際空港及び周辺エリアは以下のとおりとなっております。

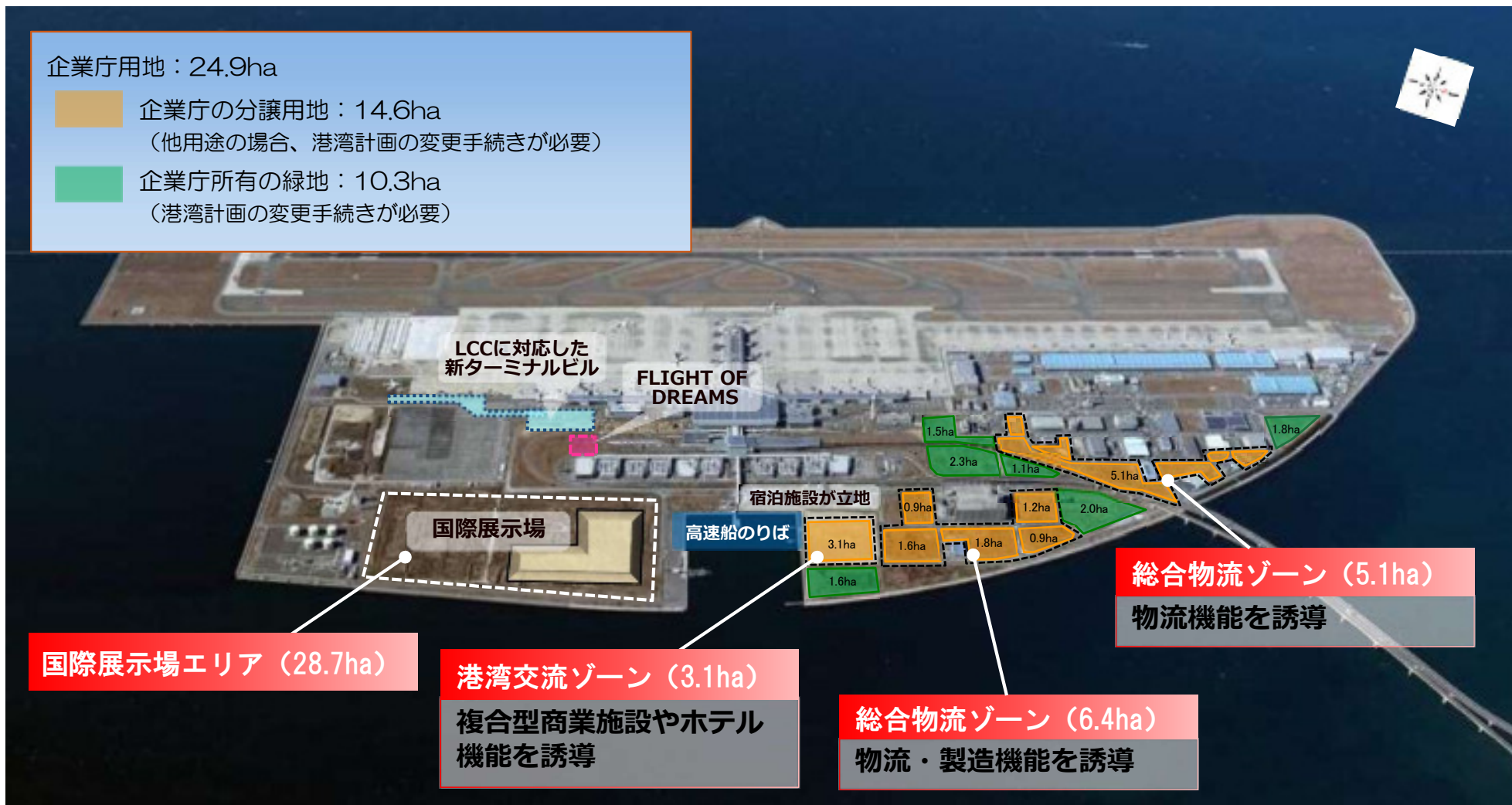


50

機能整備の中心となる対象エリア（中部国際空港島）

✓ 国際展示場エリア(28.7ha)の活用その他、利用可能な用地は計24.9haであり、都市計画法上の用途地域として、準工業地域と商業地域に指定されています。また、航空法による建造物等の高さ制限(45m)適用区域になります。

51



機能整備の中心となる対象エリア（中部国際空港対岸部）

✓ 利用可能な用地は計20.6haであり、都市計画法上の用途地域として、準工業地域と商業地域に指定されています。
 また、航空法による建造物等の高さ制限(45m)適用区域になります。



52

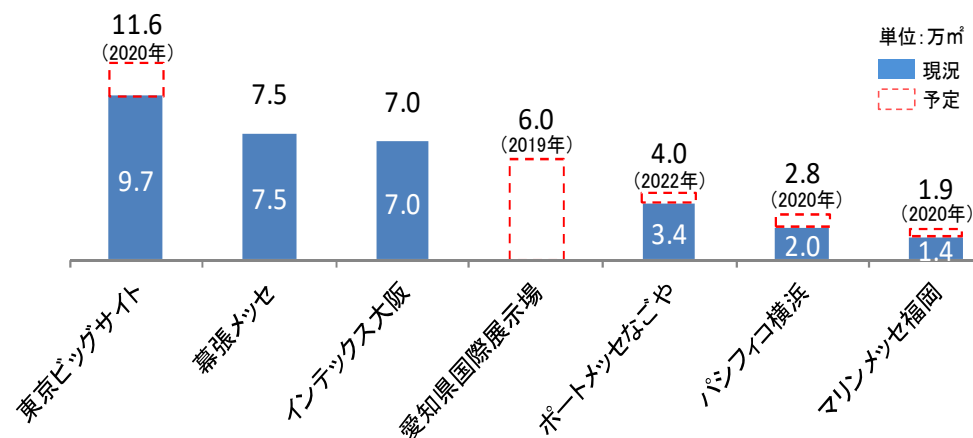
国際展示場の開業（2019年）

✓ 愛知県の国際展示場は2019年に開業予定です。

- 2019年9月開業に向け、空港島に日本初の国際空港隣接型となる展示面積6万㎡の展示場を整備(2017年9月着工)
- 運営に「コンセッション方式」を導入し、民間の創意工夫と経営感覚を生かし、展示会を企画・誘致。運営事業者は、昨年12月に優先交渉権者として「前田・GL eventsグループ」を選定し、同グループが設立したSPC(特別目的会社)と4月27日に契約を締結。今後は、開業に向けて準備を進めていく。
- 2019年・2020年の技能五輪全国大会、全国アビリンピック及び2020年のワールドロボットサミットの会場となることが決定している。
- 空港会社が整備するボーイング787初号機を中心とした複合商業施設「FLIGHT OF DREAMS」(2018年10月12日開業予定)など周辺施設との連携を図る。

53

■ 国内の主な展示場面積

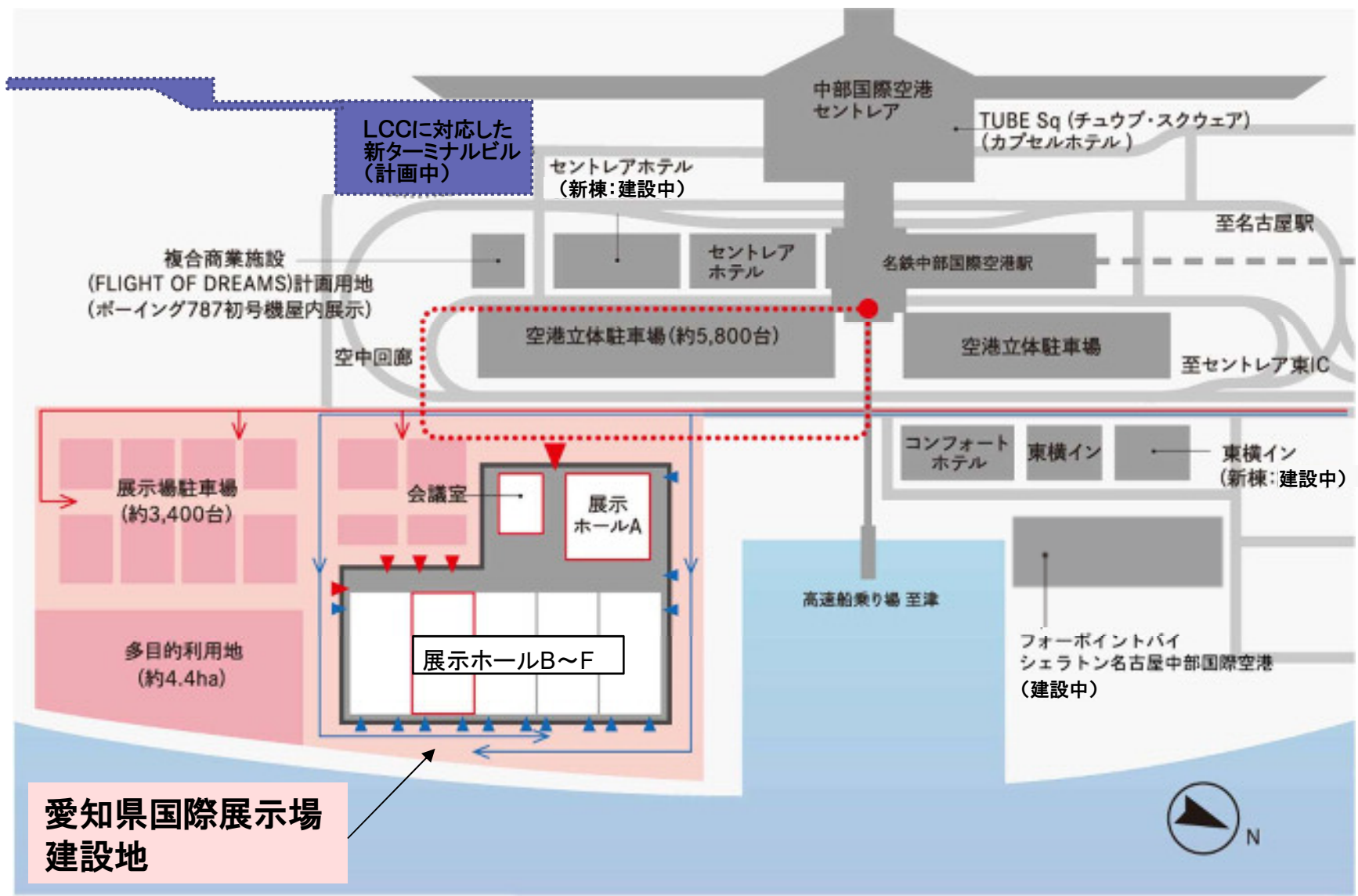


■ 愛知県国際展示場の概要

愛知県国際展示場の外観イメージ

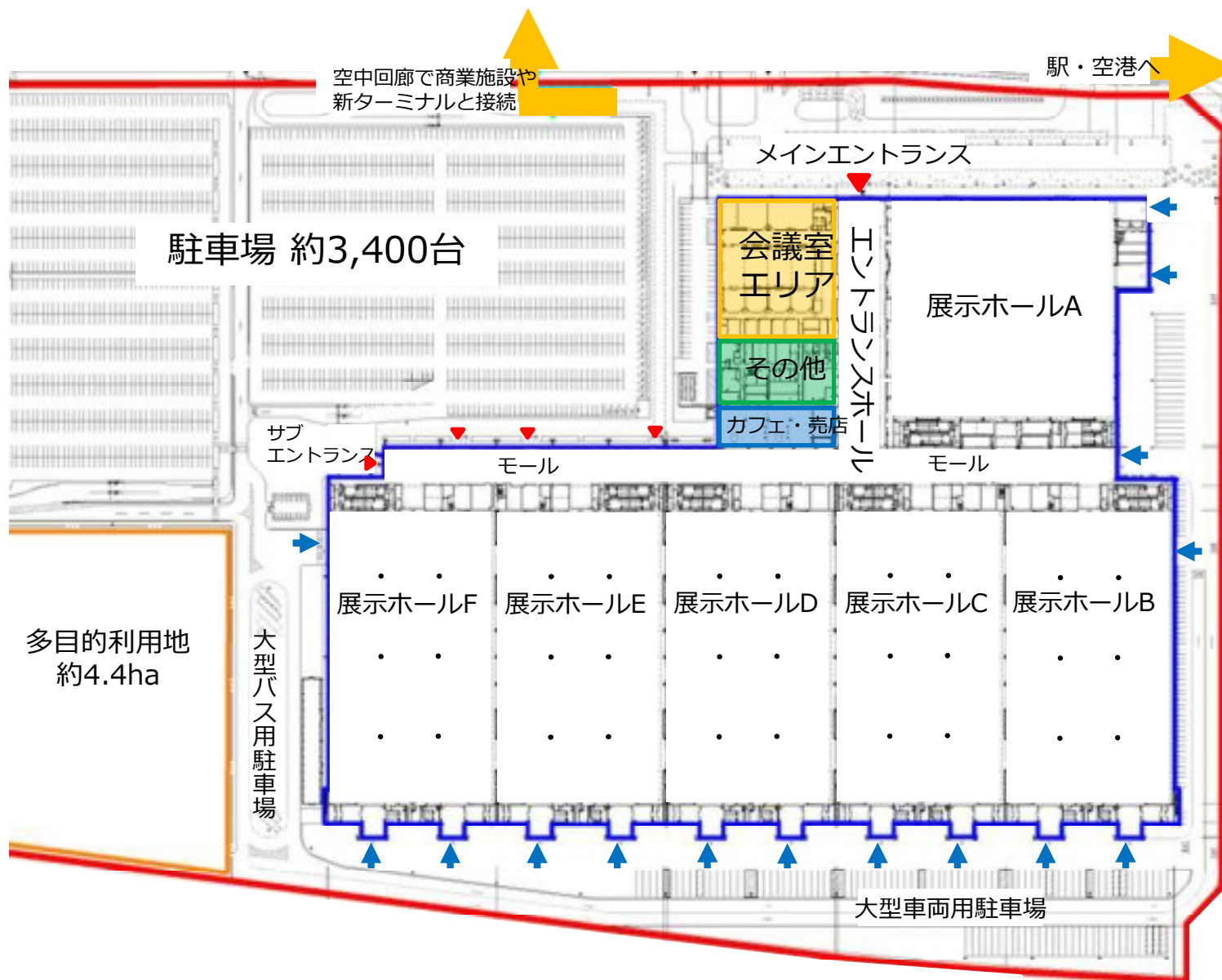


国際展示場の空港島内配置図



54

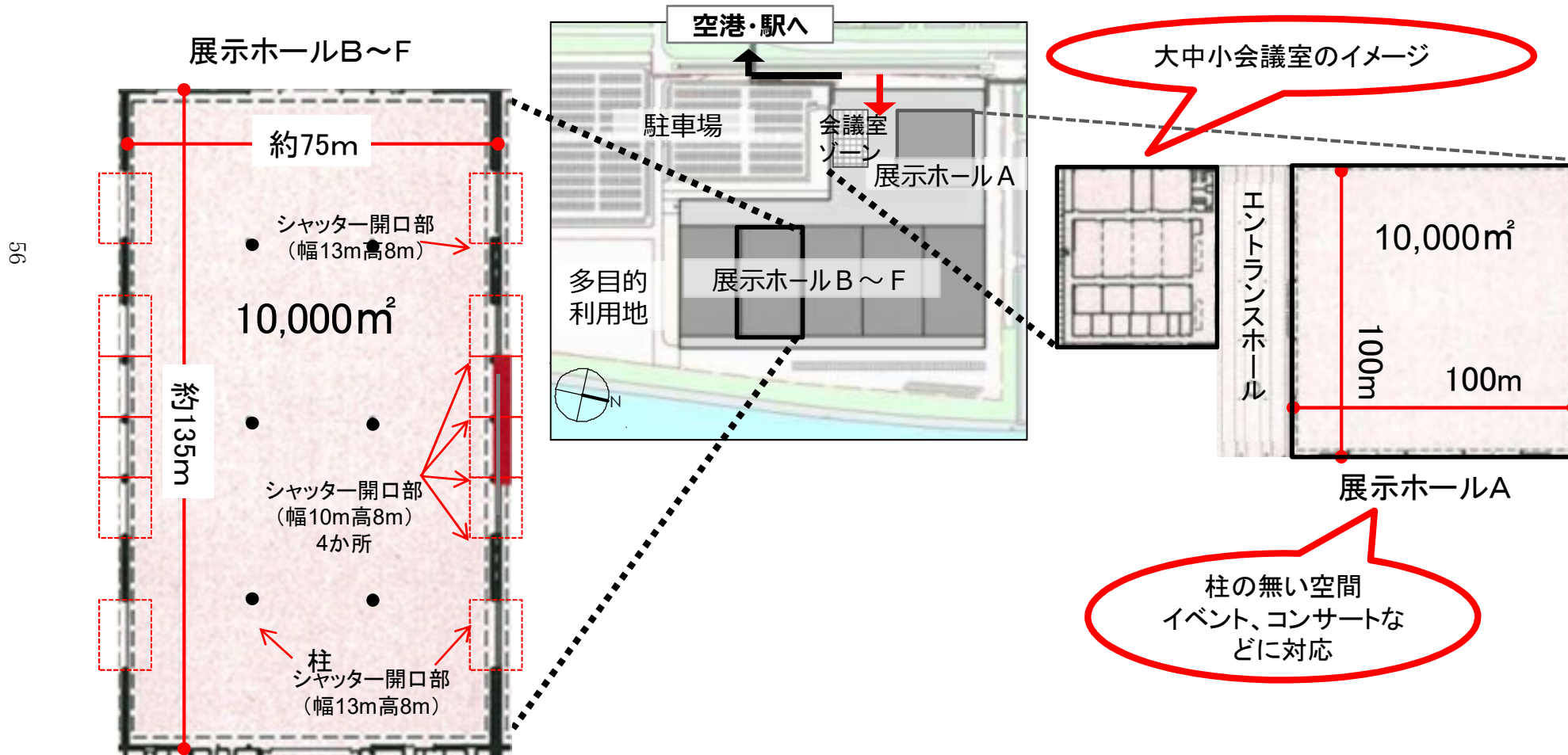
国際展示場の施設配置図



55

国際展示場の展示ホール、会議室の概要

- ✓ 展示ホールAは柱の無い空間とし、コンサート等の多目的利用が可能。展示ホールB～Fはシャッター開口を6箇所設置し、一体的な利用が可能。
- ✓ 会議室はエントランスホールに隣接して大中小18室を設置予定



複合商業施設・新ターミナルビルの整備

- ✓ 新たに複合商業施設「FLIGHT OF DREAMS」、LCCに対応した新ターミナルビルが整備され、空港周辺の魅力や機能が充実します。

■ボーイング787初号機の展示を中心とした複合商業施設「FLIGHT OF DREAMS」

施設概要	<p>○中部地域で機体の35%が製造されるボーイング787の初号機の展示を中心に航空機の部品製造から飛行までを学ぶことができる体験コンテンツやシアトルの街並をイメージした飲食・物販店が入居</p> <p>○子供も大人も楽しく学べる空間づくりや演出により、航空に対する興味・関心・憧れを喚起し、次世代を担う人材育成や航空機産業の発展にも繋げていく</p> <p>【整備主体】中部国際空港株式会社 【開業予定】2018年10月12日</p> <p>【建物概要】建築面積約6,500㎡、延床面積約11,000㎡、高さ約24m(地上3階)、鉄骨造</p>
------	---



■LCCに対応した新ターミナルビルの整備

施設概要	<p>【整備主体】中部国際空港株式会社【供用開始時期】2019年度上期</p> <p>【建物概要】延床面積約40,000㎡、2階建て2棟構成(チェックイン棟、コンコース棟)</p> <p>【年間旅客取扱数】450万人(国際線300万人、国内線150万人)</p>
------	---

出典:「国際観光都市としての機能整備に関する研究会」第2回資料

宿泊施設の立地状況

✓ 中部国際空港及び周辺エリアの宿泊施設には、既存および新規開業予定を合わせると、約4,000室の客室があります。

■既存の宿泊施設

場所	施設名	所在地	客室数
空港島	中部国際空港セントレアホテル	常滑市セントレア1-1	221
	コンフォートホテル中部国際空港	常滑市セントレア4-2-3	346
	東横INN中部国際空港本館オレンジサイド/グリーンサイド	常滑市セントレア4-2-5	1,001
	チューブ・スクエア	常滑市セントレア1-1	138
対岸部	Jホテルりんくう	常滑市りんくう町3-2-1	180
常滑駅	スプリングサニーホテル名古屋常滑	常滑市新開町3-174-1	194
周辺	ホテルルートイン常滑駅前	常滑市鯉江本町2-73	144

約2,200室

■新規開業予定の宿泊施設

場所	施設名	所在地	客室数
空港島	セントレアホテル(新棟)	常滑市セントレア1-1	約160
	東横イン(新館)	常滑市セントレア4丁目	1,287
	フォーポイントバイシェラトン名古屋 中部国際空港	常滑市セントレア4丁目10-5	319

約1,800室

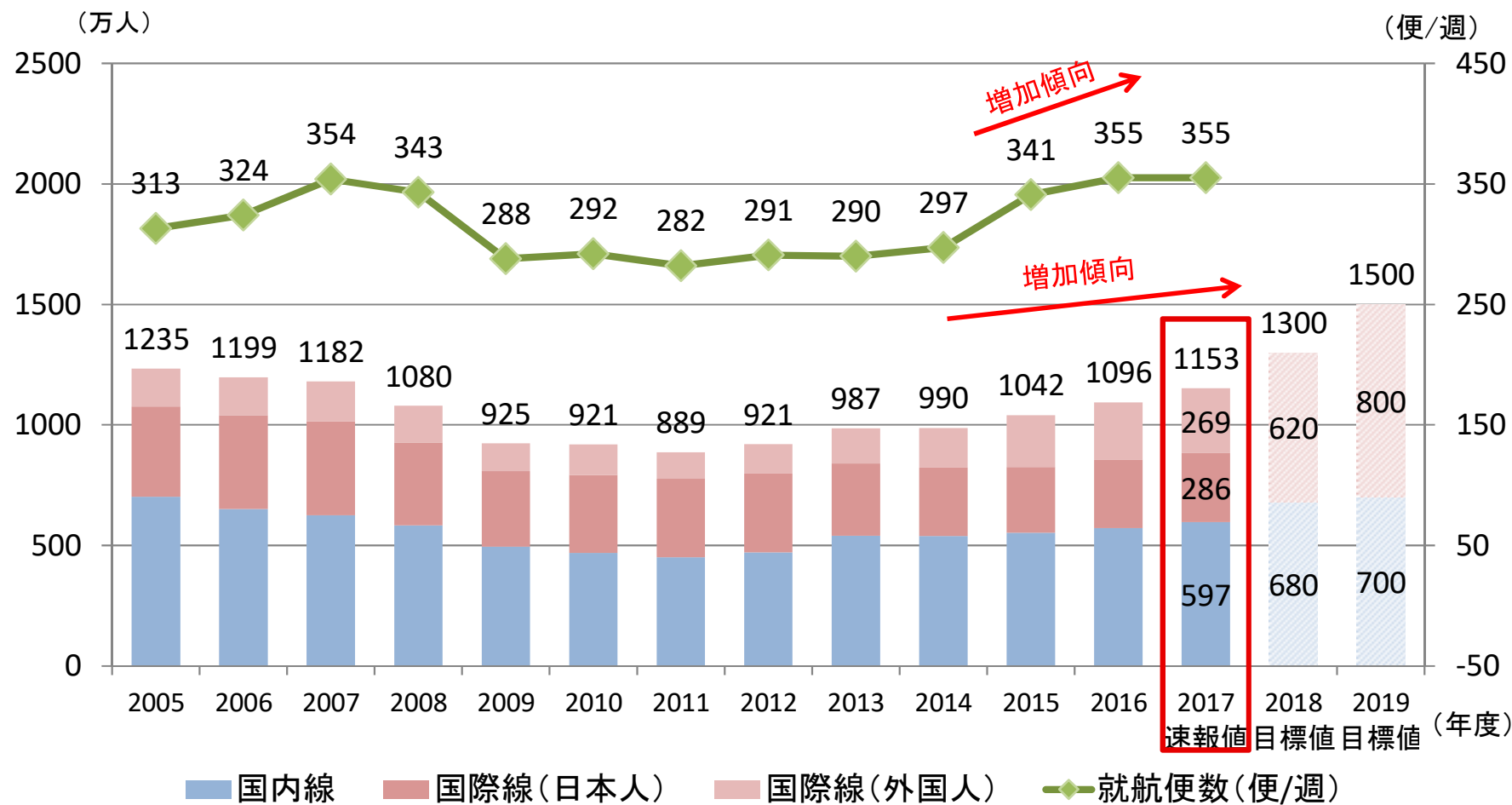
58



出典: 各種ウェブサイト、プレスリリース等より作成

中部国際空港への来訪者の推移

✓ 中部国際空港での航空旅客の推移は、開港した2005年度から減少したものの、2012年度以降は上昇に転じています。特に、外国人に関しては、2014年度には開港時の実績を上回り、2017年度(速報値)も269万人と過去最高値を更新し続けています。



出典: 中部国際空港資料

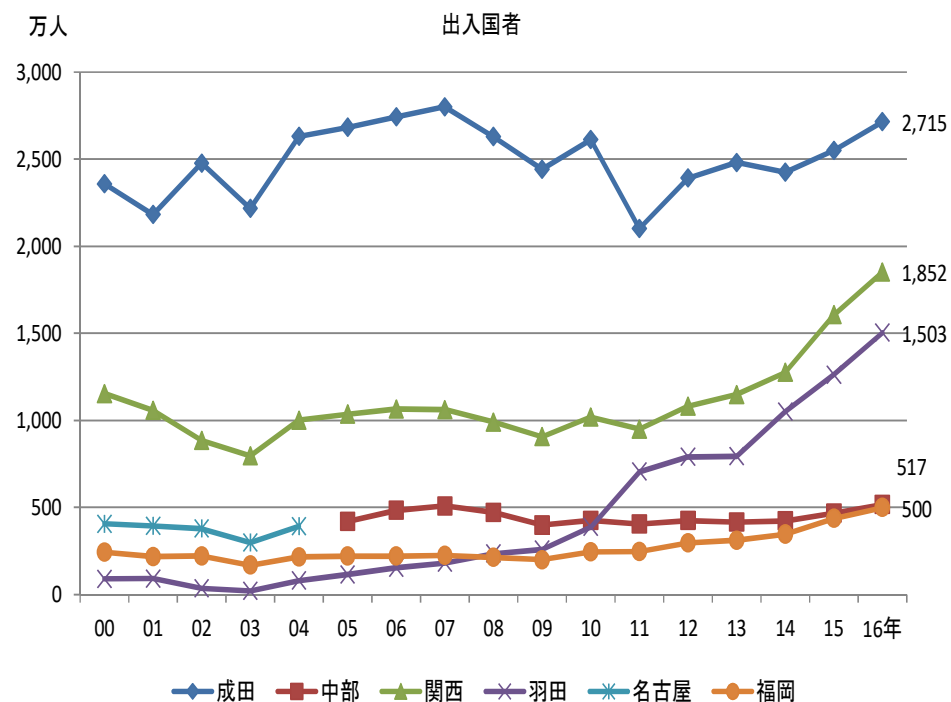
中部国際空港の就航便

- ✓ 中部国際空港の状況を見ると、国際線はアジアを中心に就航しています。
- ✓ 全国の主要国際空港における出入国者を比べると、関西、羽田が大きく増加しています。

■就航便の状況

種別	就航先 ※()内数値は便数/週
国際線 (セントレア)	韓国(56)、中国(160)、香港(28)、台湾(40)、タイ(21)、フィリピン(21)、ベトナム(14)、シンガポール(7)、欧州(12)、北米(8)、ハワイ・グアム・サイパン(28)、中近東・アフリカ(28)
国内線 (セントレア)	札幌(140)、女満別(7)、旭川(7)、函館(14)、秋田(14)、仙台(42)、新潟(14)、松山(21)、福岡(98)、大分(14)、熊本(28)、長崎(21)、宮崎(28)、鹿児島(63)、沖縄(98)、宮古(7)、新石垣(7)
※国内線 (県営名古屋空港)	山形(14)、青森(21)、花巻(28)、新潟(7)、高知龍馬(14)、出雲(14)、熊本(21)、北九州(7)、福岡(35)

■主要空港における出入国者数の状況



※06以降の県営名古屋空港の値は計上していない

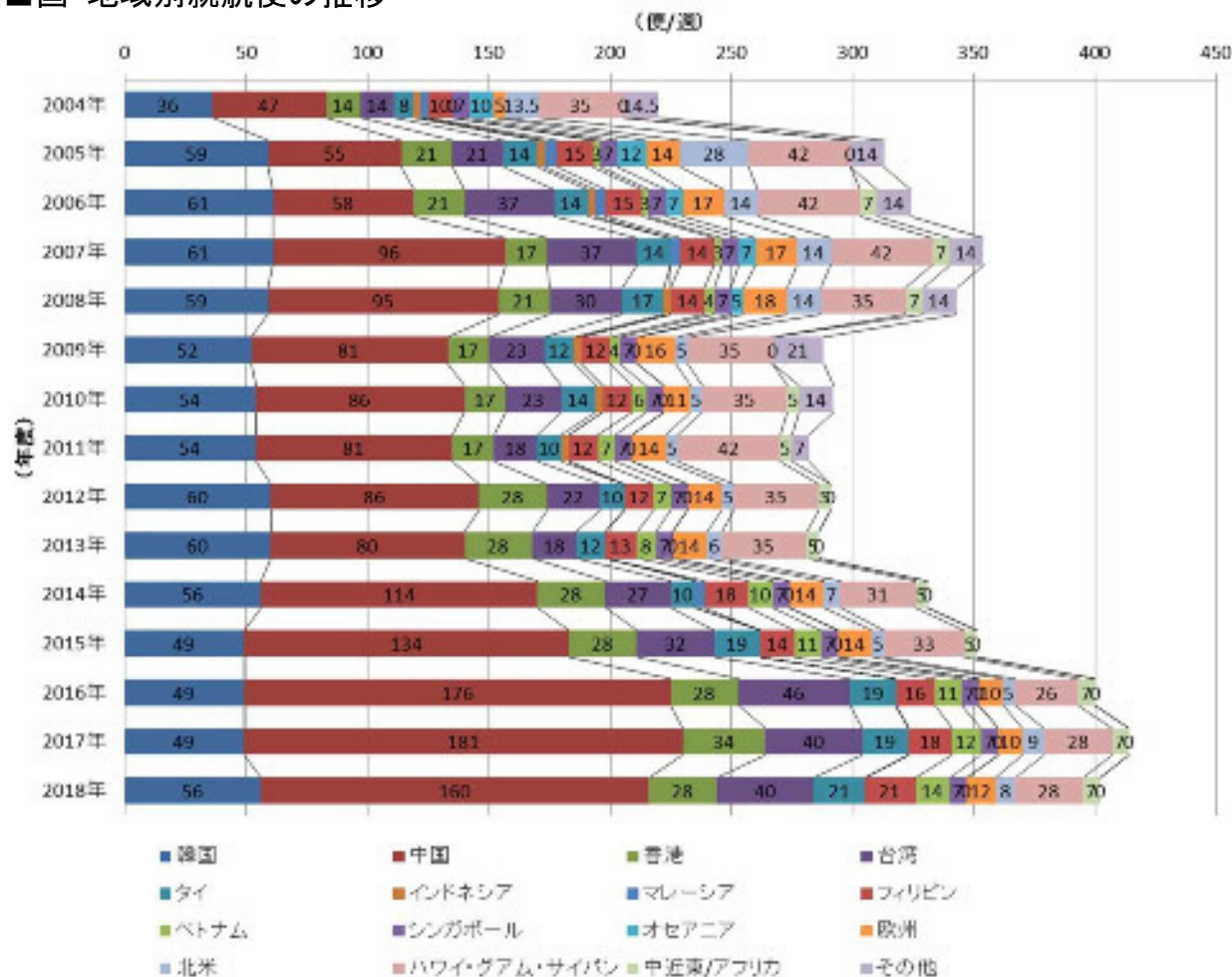
出典：法務省「出入国管理統計」

出典：JTB時刻表(2018年5月号)をもとに三菱UFJリサーチ&コンサルティングとりまとめ

中部国際空港の国・地域別就航便数推移

- ✓ 中部国際空港の就航便数は2011年に落ち込んだものの、その後、増加傾向にあります。
- ✓ 新ターミナルが2019年に開業する事により、LCCなど新たな就航先の増加が見込まれます。

■ 国・地域別就航便の推移



■ LCC就航状況

航空会社名		就航先	便/週
チェジュ(済州)航空	7C	ソウル(仁川)	14
春秋航空	9C	寧波	3
		上海(浦東)	7
香港エクスプレス航空	UO	香港	7
タイガーエア台湾	IT	台北(桃園)	5
セブ・パシフィック航空	5J	マニラ	7
ジェットスター・ジャパン	GK	マニラ	4
		台北(桃園)	3
エア釜山	BX	釜山	7
ティーウェイ航空	TW	ソウル(仁川)	7

出典: JTB時刻表(2018年6月号)

※10月30日より、タイ・エアアジアXが
セントレア=バンコク(ドンムアン)線
を新規就航

中部国際空港の概要

✓ 中部国際空港は、24時間利用可能であり、かつ様々なサービス面で優れる事から顧客満足度が高く、評価が高い空港です。



■ 空港諸元

名称	中部国際空港(愛称:セントレア)
開港	2005年2月17日
IATA/ICAO コード	NGO/RJGG
滑走路の長さ	3,500m
スポット数	73
空港運用時間	24時間
税関/入国管理局/検疫	24時間

出典: 中部国際空港資料

■ 顧客満足度の高さ

SKYTRAX社が実施している顧客サービスに関する国際空港評価に関するランキング(2018年)で、上位をキープ。

- ◇ The World's Best Regional Airports 1位(4年連続)
※“通常、首都以外の都市に位置し、主として短～中距離路線が運航され、長距離国際路線の主要ハブではない空港”を対象とした顧客サービス評価に関するランキング
- ◇ Best Regional Airports in Asia 1位(8年連続)
- ◇ Best Airports 10-20 million pax per year 1位
※規模別のランキング
- ◇ The world's Top10 Airports 2018 7位
※世界550以上の空港を対象とした総合ランキング

出典: 中部国際空港資料

ビジネスジェットでの往来

✓ 中部国際空港は、日本の中央、北米とアジアの間に位置し、国内外からのビジネスジェットでの来訪がしやすい空港です。

■プライベートジェットの受入環境

○運行支援サービス

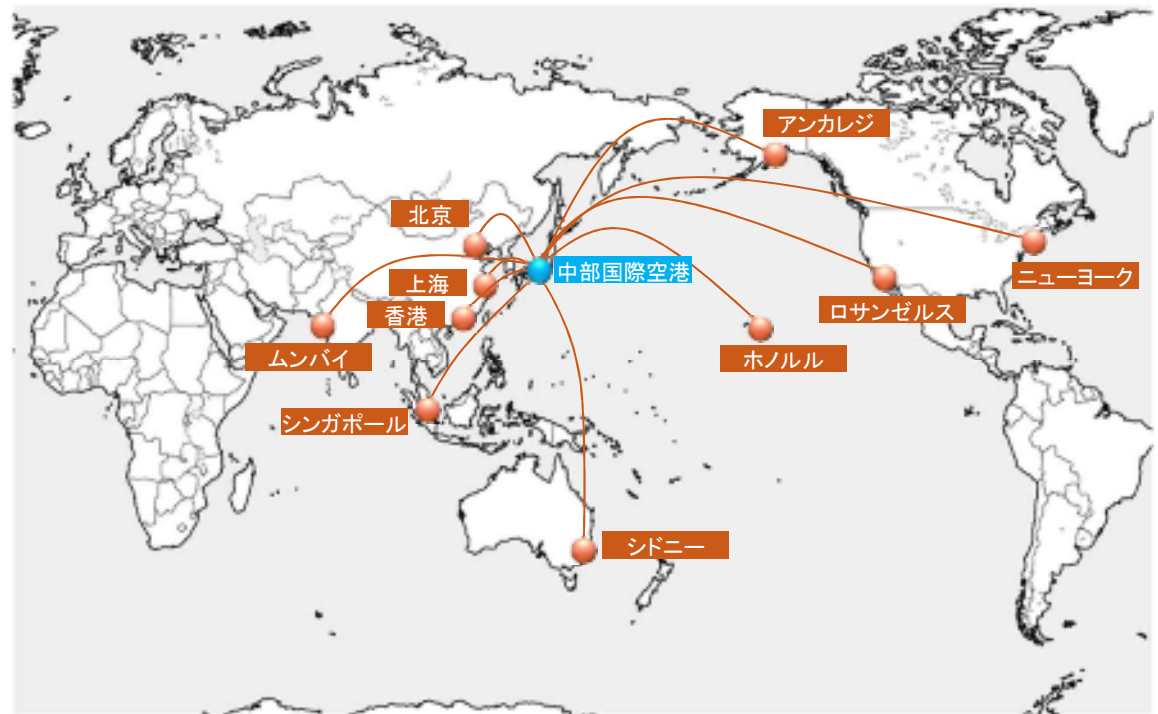
- ・航空局への発着枠や駐機場の取得申請、CIQへの各種申請書類の申請など、運行に必要な各種手続を代行
- ・コンシェルジュサービスにより、乗員、乗客の宿泊するホテルやハイヤーの手配など、様々な要望に対応

○ビジネスジェット専用ターミナル

- ・VIPラウンジ、ケータリングサービス



■ビジネスジェットでの就航可能範囲



出典：中部国際空港ウェブサイトをもとに作成

対象地域の概要

✓ 中部国際空港エリアは、現状で上下水道、電力等、各種社会インフラが整備されています。

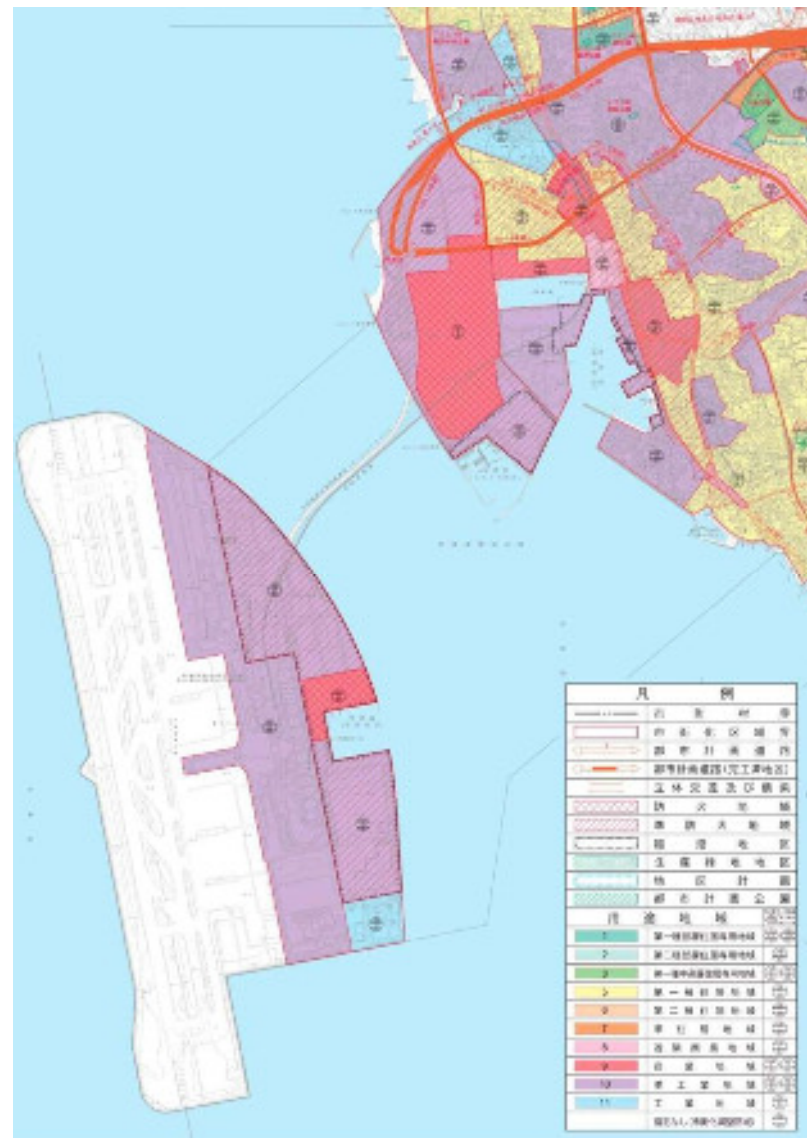
■インフラ

種別	
交通／鉄道	中部国際空港連絡鉄道(名鉄常滑線常滑駅～中部国際空港駅)
道路	知多横断道路(知多半島道路半田中央I. C. ～りんくうI. C.) 中部国際空港連絡道路(りんくうI. C. ～空港)、 国道155号から4km
空港	中部国際空港に隣接
港湾	名古屋港入船地区から約23.0km
用水／上水道	常滑市上水道
排水条件	常滑市公共下水道で処理
電力	高圧供給、特別高圧供給可

■用途指定・その他

種別	
地域指定	商業地域、準工業地域、一部臨港地区
その他	航空法による建造物等の高さ制限(45m)適用区域
優遇措置	不動産取得税の軽減(産業立地促進税制)対象地区

出典:愛知県企業庁ウェブサイト、愛知県資料等



出典:常滑市ウェブサイト(都市計画総括図)

「MICEを核とした国際観光都市」の実現に向けた アイデア募集 実施要領

1 はじめに

愛知県では、中部国際空港及びその周辺エリアにおいて、2019年9月に開業する国際展示場を核に、国際競争力の高い「MICEを核とした国際観光都市」の実現を目指しています。

平成29年8月には、地元学識者による「国際観光都市としての機能整備に関する研究会（以下、「研究会」という）」を設置し、国際観光都市として相応しい機能整備についての研究を重ね、平成30年3月にその「取りまとめ」(※)が行われたところです。(※研究会の取りまとめ：

<http://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/263650.pdf>)

この度、機能整備の具体化に向けた検討を進めるため、国内外の民間事業者などから幅広くアイデアを募集します。

2 応募資格要件

下記の要件をすべて満たす者を対象とします。

- 法人もしくは団体であること（個人での参加は不可）。
- 自治体（愛知県を除く）及び自治体（愛知県を除く）から出資・出捐等の財政支援を受けている団体でないこと。
- 「愛知県が行う事務及び事業からの暴力団排除に関する合意書（平成24年6月29日付け愛知県知事等・愛知県警察本部長締結）に掲げる排除措置の対象となる法人でないこと。
- 政治活動や宗教活動を主たる目的とする団体でないこと。
- 今後、本県からの問い合わせや、個別ヒアリングの依頼があった場合に御協力いただけること。

3 募集内容

「MICEを核とした国際観光都市」の実現に向けて、開発アイデア、取組アイデア、地域振興・観光振興策、周辺地域との連携方策、課題、今後必要と思われるインフラ整備等について、幅広くアイデアを募集します。

具体的なアイデア依頼事項については、「(別紙3) アンケート票」を参照してください。

4 応募方法

次の書類を記入の上、期日までに電子メールにてご提出ください。

【提出書類】

書類名称	提出データ形式
(別紙2) 提出書類確認書	Microsoft Word / PDF
(別紙3) アンケート票	Microsoft Word / PDF
添付資料 (提出任意) ※上記の他、提案や補足したい内容がある場合に添付。(様式自由)	Microsoft Word / Power Point / PDF

【提出先】

E Y 新日本有限責任監査法人 (本募集に係る事務局委託先)
電子メール: aichi.idea@jp.ey.com

提出期限: 2018年9月14日(金) 午後5時 必着

<応募にあたっての注意事項>

- ・提出書類は、日本語の他、英語による作成も可とします。
- ・様式等のデータは、説明会参加者及び希望者に対し、説明会開催後、順次電子メールにて送付します。
- ・添付資料のファイル容量が大きい等、電子メールによる送付が困難な場合は、Microsoft Windows で読み取り可能なフォーマットで、CD-ROM 等にデータを保存し、必ず事前連絡の上、郵送にて提出して下さい。(期日必着)なお、大容量ファイル転送サービスの利用も可としますが、こちらも利用を希望される場合は、必ず事前連絡をお願いします。
- ・添付資料を提出された方で、プレゼンテーションの実施を希望する場合は、「(別紙2) 提出書類確認書」に、プレゼンテーションを希望する旨を明示してください。

5 本募集に関する質問・回答

本募集に関する質問については、「(別紙1) 質問書」に記載の上、平成30年8月31日(金)までにE Y 新日本有限責任監査法人 (aichi.idea@jp.ey.com) あて電子メールで送付してください。

質問書の回答は、原則として質問者に個別に連絡しますが、質問の内容が応募者に対して周知が必要な事項については、説明会参加者全員に連絡させていただきます。

6 ヒアリングの実施

提出されたアイデアについて、より詳細に内容をお聞きする必要がある場合、個別ヒアリングを依頼させていただきます。

対象者については、EY新日本有限責任監査法人から適宜、御連絡させていただきます。

7 今後のスケジュール

説明会（東京会場）	2018年8月21日（火）午後3時～4時15分
説明会（名古屋会場）	8月23日（木）午後2時～3時15分
質問提出期限	8月31日（金）午後5時
アイデア募集の締切	9月14日（金）午後5時
個別ヒアリングの実施（対象者）	10月～11月頃

8 本募集の注意事項・留意事項

- 本募集は、本県が検討している中部国際空港及びその周辺エリアにおける「MICEを核とした国際観光都市」への取組に関心があり、開発・投資並びに事業への参入の意向を有する事業者の参加を想定しています。アイデアを募る事業者として本県が適切ではないと判断した場合には、本募集への参加をお断りする場合があります。
- 以下のいずれかに該当する場合は、提出されたアイデアの全部又は一部を無効とすることがあります。
 - (1) 応募資格要件を有すると偽った場合又は要件を失った場合
 - (2) 法令等もしくは公序良俗に違反する場合又はそのおそれのある場合
 - (3) 提出書類に虚偽の内容が記載されていた場合
 - (4) 著作権、商標権、意匠権その他の知的財産権を含め、第三者の何らかの権利・利益を侵害する内容を含む場合
- アイデア募集に係る費用は、全て事業者の負担とします。
- 頂いたアイデアは、「MICEを核とした国際観光都市」の実現に向けた検討を行う目的にのみ利用します。下記の事項を除き、公表・開示及び第三者への提供は行いません。
 - ・ 提出者が公表・開示等に同意した場合
 - ・ 既に公知・公用の情報である場合
 - ・ 法令等によって提供が要求される場合
 - ・ 本募集の目的の範囲内で外部有識者、弁護士、公認会計士、コンサルタント等の第三者に対して提供する場合（当該第三者へ守秘義務を課すことを前提）
- 提出されたアイデアの著作権、商標権、意匠権その他の知的財産権等は、提出者に帰属します。なお、提出書類の作成に当たり、提出者は他者の知的財産を侵害しないこととします。他者の知的財産を利用する場合は必要な対策を講

じることとし、本県に一切の負担及び迷惑をかけないこととします。

- 本募集の実施要領等（本資料及び添付資料）及び配布資料は、第三者に公表・開示・提供等を行わないでください。

9 本募集に関するお問い合わせ先

EY新日本有限責任監査法人（本募集に係る委託先）

- ・電子メール：aichi.idea@jp.ey.com（担当：萬羽、高島）
- ・電話：052 - 566 - 1700
- ・住所：〒450-6642

名古屋市中村区名駅一丁目1番3号 JR ゲートタワー

10 発注機関

愛知県 振興部 地域政策課

質問書

年 月 日

住所		
商号・名称		
担当者	所属	
	氏名	
	電話番号	
	E-mail	

愛知県「MICEを核とした国際観光都市」の具体化へ向けたアイデア募集に関して、以下の質問を提出します。

質問事項	配布資料等の記載箇所	質問内容

※行が不足する場合は、追加して記載下さい。

提出書類確認書

愛知県知事 殿

年 月 日

住所		
商号・名称		
代表者氏名		
担当者	所属	
	氏名	
	電話番号	
	E-mail	

愛知県「MICEを核とした国際観光都市」の具体化へ向けたアイデア募集に関して、下記資料を提出します。

該当する□に✓マークを記入して下さい。

【提出資料】(添付資料は提出任意)

- アンケート票
- 添付資料(書類名:)

【プレゼンテーション希望申請】

- 提出した添付資料に基づき、プレゼンテーションを希望します。
- 希望しません。

※ 具体的なプレゼンテーションの日時・場所は別途調整を行います。また、プレゼンテーションの希望者が多い場合は、全てのプレゼンテーションを行わない可能性もありますので、ご容赦ください。

「MICE を核とした国際観光都市」の実現に向けたアイデア募集

アンケート票

年 月 日

【提出者】

住所		
商号・名称		
代表者氏名		
担当者	所属	
	氏名	
	電話番号	
	E-mail	

※共同提出の場合には、代表企業について記載していただき、別紙任意様式により、共同提出の全構成企業（代表企業を含む）について上記項目を記載し、提出して下さい。

【記載に係る留意事項】

- ・ ★のついた設問は必須回答、その他の設問は任意回答となります。
- ・ 本紙は日本語の他、英語による作成も可とします。
- ・ 本紙は、Microsoft Word 又は PDF により、EY 新日本有限責任監査法人（aichi.idea@jp.ey.com）へ電子メールにより送付してください。なお、アンケートの回答等に関する提案や補足資料等がある場合には、併せて送付してください。

★問1 関心のある対象区域

中部国際空港及びその周辺エリアにおいて、「MICE を核とした国際観光都市」の実現に関して、関心のある対象区域について、以下の項目から選んで下さい。（複数回答可）

↓当てはまるものに✓を付けて下さい。

	①空港島
	②空港島対岸部
	③その他（ ）
	④情報収集段階であり、現時点では未定

★問2 関心のある機能・施設

「MICE を核とした国際観光都市」の実現に向けて整備すべき機能として、関心のある機能・施設について、以下の項目から選んで下さい。（複数回答可）

↓当てはまるものに✓を付けて下さい。

	①MICE 施設
	②宿泊施設
	③エンターテイメント施設
	④レストラン
	⑤ショッピングモール
	⑥愛知・日本の魅力を発信する機能
	⑦観光客の送客機能
	⑧上記以外（ ）
	⑨情報収集段階であり、現時点では未定

問3 地域の魅力・強み

★<3-1> 中部国際空港及びその周辺エリアの魅力・強みについて、評価している点を以下の項目から選んで下さい。（複数回答可）

↓当てはまるものに✓を付けて下さい。

	①愛知県国際展示場の大きさ（展示面積 6 万㎡）
	②愛知県国際展示場が保税区域内にあること
	③中部国際空港に近接していること
	④名古屋市を中心部からの距離・移動時間
	⑤グローバル企業集積地から近いこと
	⑥都道府県別の県民総生産が愛知県は東京都に次いで 2 位であること

	⑦2027年度にリニア中央新幹線が東京－名古屋間で開通すること
	⑧インフラ（鉄道・道路・電気・ガス・水道等）が整備済みであること
	⑨愛知県内始め、空港からアクセスしやすい周辺観光地が充実していること
	⑩愛知県内及び愛知県近郊が多彩な食文化を有すること
	⑪上記以外（ ）
	⑫特になし

<3-2> 上記<3-1>で選択した項目を踏まえて、地域の魅力・強みを更に強化するアイデアがあれば記載して下さい。（自由記入）

問4 地域の弱み・懸念事項

★<4-1> 中部国際空港及びその周辺エリアの弱み・懸念事項があれば、以下の項目から選んで下さい。（複数回答可）

↓当てはまるものに✓を付けて下さい。

	①候補地の土地利用制限（用途地域、容積率、建ぺい率）
	②航空法による45mの建物等の高さ制限（空港近接地による規制）
	③中部国際空港のキャパシティ（発着回数、滑走路の長さ、本数等）
	④利用可能な土地の面積の規模
	⑤名古屋市の中心部からの距離・移動時間
	⑥鉄道の輸送能力
	⑦道路の輸送能力
	⑧駐車場の収容量
	⑨輸送関連以外のインフラの整備状況
	⑩上記以外（ ）
	⑪特になし

<4-2> 上記<4-1>で選択した項目について、詳しい内容や、当県に対する質問があれば記載して下さい。(自由記入)

問5 MICE機能の強化

<5-1> 愛知県では、空港島に展示面積6万㎡の国際展示場を整備しており、運営にはコンセッション方式を採用し、2019年9月に開業予定です。今後、この国際展示場を核に、中部国際空港及びその周辺地域に国内外からMICEを呼び込むための方策について、以下の項目に提案したい、あるいは提案できるものがあれば選んで下さい。(複数回答可)

↓当てはまるものに✓を付けて下さい。

	①大規模なイベント、国際会議等の誘致推進
	②会議場機能の強化
	③展示場機能の強化
	④一般的なMICEの機能・利用方法とは異なる特徴的な機能・利用方法の付加
	⑤上記以外 ()

<5-2> 上記<5-1>で選択した項目の具体的なアイデアについて教えて下さい。(自由記入)

問6 多様なニーズに対応できる宿泊施設の整備

<6-1> 中部国際空港及びその周辺エリアにおいて、訪日外国人旅行者や MICE 参加者を呼び込んでいくためには、今後、どのような宿泊施設が整備されると良いと思いますか。以下の項目に提案したい、あるいは提案できるものがあれば選んで下さい。(複数回答可)

↓当てはまるものに✓を付けて下さい。

	①個性的なデスティネーション型ホテル
	②長期滞在向けのゆとりのあるビジネスホテル
	③ハイクラスホテル
	④高級コンドミニアム
	⑤上記以外 ()

<6-2> 上記<6-1>で選択した項目について、整備内容のアイデア(コンセプト、規模、イメージ図等)があれば記載して下さい。(自由記入)

--

問7 魅力増進施設の充実

<7-1> 中部国際空港及びその周辺エリアにおいて、MICE 開催地としての魅力向上や、訪日外国人旅行者を惹きつけるためには、今後、どのような魅力増進施設が整備されると良いと思いますか。以下の項目に提案したい、あるいは提案できるものがあれば選んで下さい。(複数回答可)

↓当てはまるものに✓を付けて下さい。

	①エンターテイメント施設
	②劇場
	③美術館、博物館
	④レストラン
	⑤夜間も営業するアミューズメント施設
	⑥上記以外 ()

問9 周辺観光資源との連携方策

<9-1> 中部国際空港及び周辺エリアへ集客を促すだけでなく、そこから昇龍道始め各地の観光地等へ人を送り出すためには、今後、どのような取組が有効だと思いますか。以下の項目に提案したい、あるいは提案できるものがあれば選んで下さい。(複数回答可)

↓当てはまるものに✓を付けて下さい。

<input type="checkbox"/>	①「MICE を核とした国際観光都市」を基点とした周遊観光ルートの開発
<input type="checkbox"/>	②国際会議等のイベントに付随する周遊観光 (excursion) の推進
<input type="checkbox"/>	③送客機能の充実 (名所、飲食店の紹介、旅程提案等)
<input type="checkbox"/>	④周辺観光地の DMO との連携
<input type="checkbox"/>	⑤上記以外 ()

<9-2> 上記<9-1>で選択した項目について、具体的なアイデアがあれば記載して下さい。(自由記入)

問10 統合型リゾートについて

★<10-1> 本年7月20日に成立した「特定複合観光施設区域整備法」に基づく日本型 IR についてのお考えがあれば記載してください。(自由記入)

問 11 御社の強み

「MICE を核とした国際観光都市」について、御社の強みや活用可能と考えている内容を教えて下さい。(自由記入)

--

問 12 愛知県に対する情報提供要望等

今後、「MICE を核とした国際観光都市」の検討を進めるにあたり、事業者として必要となる情報提供等について、ご要望を教えてください。(自由記入)

【情報提供の要望】
【その他の要望】

問 13 その他

上記設問以外で「MICE を核とした国際観光都市」に関するご提案・ご意見があれば、自由にご回答下さい。(自由記入)

--

以 上